



ファンドガイドブック

(主要バイアウト・メザニンファンド一覧)

2021年2月2日

株式会社マーブル

本ガイドブックの概要

概要

本ガイドブックでは、日本で投資活動を行う主要なバイアウトファンド・メザニンファンドの概要につき整理しています。

構成

各ファンドにつき2ページで構成しています。

1ページ目

- ・会社名
- ・代表者
- ・所在地
- ・設立
- ・運営ファンド
- ・参考文献
- ・経営理念・投資方針

2ページ目

投資実績

また、各ページの右上の「バイアウト」「メザニン」の記載は、いずれの投資スタイルが主体かを表しています。（両方の場合もあり）

本ガイドブックの更新

本ガイドブックは随時アップデートしていく予定です。

目次

50音順

#	ファンド運営会社	バイアウト	メザニン	ページ
1	RBGパートナーズ	○	-	5
2	INCJ	○	○	7
3	アイ・シグマ	○	-	9
4	アスパラントグループ	○	-	11
5	アドバンテッジパートナーズ	○	-	13
6	アント・キャピタル・パートナーズ	○	-	15
7	いわかぜキャピタル	○	-	17
8	インテグラル	○	-	19
9	ACA	○	-	21
10	AZ-Star	○	-	23
11	AJキャピタル	○	-	25
12	SBI地域事業承継投資	○	-	27
13	MSD企業投資	○	-	29
14	MCo	-	○	31
15	MBKパートナーズ	○	-	33
16	Lキャタルトン	○	-	35
17	エンデバー・ユナイテッド	○	-	37
18	カーライル	○	-	39
19	刈田・アンド・カンパニー	○	-	41
20	キャス・キャピタル	○	-	43

#	ファンド運営会社	バイアウト	メザニン	ページ
21	クリアシオン・キャピタル	○	-	45
22	KKR	○	-	47
23	CVCキャピタル・パートナーズ	○	-	49
24	CLSAキャピタルパートナーズ	○	-	51
25	ジェイ・アイ・ピーキャピタル	○	-	53
26	ジェイ・ウィル・パートナーズ	○	-	55
27	J-STAR	○	-	57
28	シティック・キャピタル・パートナーズ	○	-	59
29	ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ	○	○	61
30	JAPAN革新継承	○	-	63
31	ジャフコグループ	○	-	65
32	SynClover Capital Management	○	-	67
33	新生企業投資	○	-	69
34	ソリューションデザイン	○	○	71
35	大和PIパートナーズ	○	○	73
36	W&Dインベストメントデザイン	○	-	75
37	WMパートナーズ	○	-	77
38	ティーキャピタルパートナーズ	○	-	79
39	DBJ投資アドバイザリー	○	-	81
40	トライハード・インベストメンツ	○	-	83

目次（続き）

50音順

#	ファンド運営会社	バイアウト	メザニン	ページ
41	トラスト・キャピタル	-	○	85
42	日本企業成長投資	○	-	87
43	日本協創投資	○	-	89
44	日本グロース・キャピタル	○	-	91
45	日本産業推進機構	○	-	93
46	日本産業パートナーズ	○	-	95
47	日本成長投資アライアンス	○	-	97
48	日本創生投資	○	-	99
49	日本投資ファンド	○	-	101
50	日本プライベートエクイティ	○	-	103
51	日本みらいキャピタル	○	-	105
52	ニューホライズンキャピタル	○	-	107
53	ネクスト・キャピタル・パートナーズ	○	-	109
54	野村キャピタル・パートナーズ	○	-	111
55	野村メザニン・パートナーズ	-	○	113
56	百五みらい投資	○	-	115
57	ファイブスター・メザニン	-	○	117
58	ブラックストーン・グループ	○	-	119
59	フロネシス・パートナーズ	○	-	121
60	ベーシック・キャピタル・マネジメント	○	-	123

#	ファンド運営会社	バイアウト	メザニン	ページ
61	ベアリング・プライベート・エクイティ・アジア	○	-	125
62	ベインキャピタル	○	-	127
63	ペルミラ・アドバイザーズ	○	-	129
64	ポラリス・キャピタル・グループ	○	-	131
65	マーキュリアインベストメント	○	-	133
66	丸の内キャピタル	○	-	135
67	みずほキャピタルパートナーズ	○	○	137
68	雄渾キャピタル・パートナーズ	○	-	139
69	ユニゾン・キャピタル	○	-	141
70	ライジング・ジャパン・エクイティ	○	-	143
71	ロングリーチグループ	○	-	145

- 独立系のファンド運営会社。RBGは、「Renovation for Business Growth」（改革と成長）の略称。

会社名

株式会社RBGパートナーズ

代表者

金子 英正、時田 太郎

所在地

神奈川県横浜市西区南幸二丁目15番20号
YBS南幸ビル8階

設立

2018年10月2日

運営ファンド

地域企業バリューアップ支援1号投資事業有限責任組合
(40億円)

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

投資指針

過去・現在での投資における“学び”から、投資指針を策定し、運用しております。

- リスク対比リターンを意識する
- 強い経営陣との協働が投資成功のカギとなる
- キャッシュフロー創出力はあるか。企業価値向上の梃子となるレバーはあるか
- 過信しない
- LBOローン調達時は自由度を重視する
- エグジット・プライスの極大化にこだわりすぎない
- エグジット後も投資先が成長できるよう最大限配慮する

投資後のハンズオンの取り組み姿勢

「会社を知る」、「守りを固める」、「攻めに出る」の順に、地道かつ着実に成長への基盤を整え、経営陣と協働で企業価値の向上を目指します。

- これまでに3件の投資実績あり。

アルメックステクノロジーズ

投資時期

2019年10月

事業内容

表面処理装置・ケミカル製品の開発・製造・販売

ウィズコーポレーション

投資時期

2019年12月

事業内容

音の出る絵本、各種SPツールの企画・製作、印刷・製本の開発・製造・販売など

タイムウェルメディカル

投資時期

2020年3月

事業内容

米国・欧州におけるL-FABP・POCキットの製造・開発・販売

- 産業革新機構から新設分割により設立された政府系ファンド。アーリーステージやベンチャー企業、海外企業への投資も行う。

会社名

株式会社INCJ（アイエヌシイジェイ）

代表者

志賀 俊之、勝又 幹英

所在地

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

設立

2018年9月（産業革新機構から新設分割）

運営ファンド

未詳

参考文献

プライベート・エクイティ投資の実践

経営理念 ・投資方針

オープンイノベーションを通じて次世代の国富を担う産業を育成・創出します

投資基準

- 社会的ニーズへの対応
 - ・ 国内外へのエネルギー・環境問題への対応
 - ・ 健康長寿社会の実現
 - ・ 国民経済における生産性の向上
- 成長性
 - ・ 新たな付加価値の創出等が見込まれること
 - ・ 民間事業者等からの資金供給が見込まれること
 - ・ 取得する株式等の処分の蓋然性が高いと見込まれること
- 革新性
 - ・ 先端基礎技術の結集及び活用
 - ・ ベンチャー企業等の経営資源の結集及び活用
 - ・ 技術等を核とした事業の再編・統合
 - ・ 我が国に存在する経営資源以外の経営資源の活用

- 「事業の再編・統合」に分類される投資実績は、以下の通り。

国際原子力開発

公表時期：2010年10月

ユニキャリア

公表時期：2011年11月

ヨシムラ・フード・ホールディングス

公表時期：2016年3月

日本インター

公表時期：2010年11月

クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン

公表時期：2012年7月

住化積水フィルム

公表時期：2016年3月

衆智達

公表時期：2011年8月

ルネサスエレクトロニクス

公表時期：2012年12月

リバーホールディングス

公表時期：2017年10月

ジャパンディスプレイ

公表時期：2011年8月

JOLED

公表時期：2014年7月

ビークルエナジージャパン

公表時期：2018年12月

- 丸紅グループのファンド運営会社。これまでに3つのファンドを組成・運営。

会社名

アイ・シグマ・キャピタル株式会社

代表者

渡辺 昭彦

所在地

東京都千代田区大手町一丁目5番1号
大手町ファーストスクエア ウェストタワー2階

設立

2000年9月

運営ファンド

アイ・シグマ事業支援ファンド1号 (2008年 135億円)
アイ・シグマ事業支援ファンド2号 (2013年 203億円)
アイ・シグマ事業支援ファンド3号 (2019年 318億円)

参考文献

続・事業承継とバイアウト - 製造業編 -

経営理念 ・投資方針

企業理念

プライベートエクイティ事業を通して、社会からその存在価値を認知され、共感・信頼される企業として、永続的に発展していくことを目指す。

バイアウト投資事業の投資対象

- 開発・製造している製品、提供しているサービスのベースに、確固としたフィロソフィーがある
- 対象市場の現状と将来像、そしてその中における自社のポジションに対する現状認識とビジョンがある
- 参入障壁の高さ／模倣の難しさ（強固な技術資産／経営資産）が確立されている（されようとしている）
- 情報開示に積極的で、かつ財務経理インフラが整備されている（されようとしている）
- 株主・投資家とパートナーシップを組んで企業を成長させようと志向している
- マネジメントチームの総合力／バランスがとれている

- 1号ファンドから3号ファンドまで、14件の投資実績あり。

1号ファンド

スイートスタイル
投資時期：2009年3月

寿製作所
投資時期：2009年12月

ゴールドパック
投資時期：2011年1月

マオス/新総企
投資時期：2012年3月

プレミアファイナンシャルサービス
投資時期：2013年4月

2号ファンド

飯野ホールディング
投資時期：2013年9月

コーケンホールディング
投資時期：2015年4月

バリオセキュア
投資時期：2016年6月

京都セミコンダクター
投資時期：2016年7月

日東コーン・アルム
投資時期：2016年7月

ショクカイ
投資時期：2018年3月

ミスズライフ
投資時期：2018年3月

3号ファンド

和コーポレーション
投資時期：2019年8月

モニター
投資時期：2019年10月

- 「熱い想いを持つ者」を意味する「アスパラント」を社名に冠するファンド運営会社。これまでに4つのファンドを組成・運営。

会社名

アスパラントグループ株式会社

代表者

中村 彰利

所在地

東京都港区赤坂二丁目23番1号
アークヒルズフロントタワーRoP1001

設立

2012年10月

運営ファンド

AG1号ファンド (2013年 83億円)
AG2号ファンド (2016年 272億円)
AG2号bファンド (2018年 76.5億円)
AG3号ファンド (2019年 500億円)

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

投資戦略

弊社（アスパラントグループ）の経営支援チーム（オペレーションチーム）を常駐で派遣し、経営陣、従業員と一緒に、業績改善、成長支援を強力に推進することで企業価値の向上を図る

投資対象の主な類型

1. オーナー企業の事業承継（オーナーの引退／次世代経営陣へのスムーズな移行を支援等）
2. 企業グループからの独立（親会社の事業戦略の見直し等により売却対象となった事業・会社への投資等）
3. 外部環境の変化などで、業績改善、事業再構築を必要とする中堅企業

投資金額

- ファンドからの投資金額は、1件当たり 10億円～100億円程度
 - ✓ 共同投資家との協調、銀行借入の利用で、企業価値300億円程度の案件にも対応可能
 - ✓ 既存投資先の追加買収（ロールアップ）では小規模案件にも対応
- 更なる大規模案件には、必要に応じ、ファンド出資者、戦略的投資家等と共同投資

■ カーブアウトと事業承継を中心に、20件の投資実績あり。

	AG1号ファンド	AG2号ファンド	AG2号bファンド	AG3号ファンド	
カーブアウト	<p>FILWEL 投資時期：2016年1月</p>	<p>さが美グループ ホールディングス 投資時期：2016年10月</p> <p>長崎運送 投資時期：2018年1月</p> <p>ソード 投資時期：2018年2月</p> <p>ユメックス 投資時期：2018年8月</p>	<p>ファーマライズ ホールディングス 投資時期：2018年11月</p> <p>FCM 投資時期：2018年12月</p> <p>NJT銅管 投資時期：2019年9月</p>	<p>ブレクスHD 投資時期：2020年1月</p>	
事業承継	<p>三浦印刷 投資時期：2014年3月</p> <p>テラケン 投資時期：2015年1月</p>	<p>ヒューマニック 投資時期：2015年7月</p> <p>駐車場総合研究所 投資時期：2016年1月</p>	<p>丸喜産業 投資時期：2016年11月</p> <p>ヤマトグループ 投資時期：2017年3月</p>	<p>インフォマティクス 投資時期：2017年6月</p> <p>アウトルック コンサルティング 投資時期：2019年3月</p>	<p>緑測器 投資時期：2019年12月</p> <p>タンケンシールセーコウ 投資時期：2020年3月</p> <p>ディップソール 投資時期：2020年12月</p>
事業再生	<p>りんかい日産建設 投資時期：2015年1月</p>				

- 1997年にファンド運営を開始した日本のファンド運営会社の草分け的存在。本邦のバイアウトのみならず、PIPEs（上場企業マイノリティ投資）やアジアでの投資業務も行う。

会社名

株式会社アドバンテッジパートナーズ

代表者

笹沼 泰助、リチャード フォルソム

所在地

東京都港区虎ノ門四丁目1番28号
虎ノ門タワーズオフィス17階

設立

1992年（1997年からファンド運営を開始）

運営ファンド

MBI Fund I～III（30・180・465億円）
Advantage Partners Fund IV・IV-S・V・VI（2,156・200・606・850億円）
Asia Fund I（USD 370 million）
InfleXion I・II（265・107億円）
アドバンテッジアドバイザーズ成長支援ファンド（231億円）

参考文献

事業再編とバイアウト
事業承継とバイアウト
プロフェッショナル経営者とバイアウト
続・事業承継とバイアウト - 製造業編 -
続・事業承継とバイアウト - 小売・サービス業編 -
続・事業再生とバイアウト
続・事業再編とバイアウト

経営理念 ・投資方針

理念/Advantage way

アドバンテッジパートナーズは、常に新しい市場を創造するか既存市場を革新的に再定義する。我々は各市場において必ずリーダーシップを獲得し、それにより最大化される経済的付加価値を社会、協力者、従業員と分かちあう。

目標

我々はファンド投資先企業を、ファンドから離れた後も競争力ある企業として発展し得る企業へと育成する。単にファンドとその投資家に価値提供をするにとどまらず、ほかの株主、従業員・家族、取引先、金融機関など、すべての関係者がファンドの投資を通して経済価値を享受できるように、投資実行のプロセス、投資後の経営プロセスをサポートする。

戦略

当ファンドの投資家への価値提供を多角的側面から追及し、オルタナティブインベストメントとして卓越した投資収益の実現を目指す。ファンド投資先企業の潜在的競争力・収益力を最大化するため、経営理念、事業の定義、戦略、オペレーションシステムのすべての側面の改革案を詳細に提案し、サポートする。

■ AP IV-S・V・VIの3つのファンドの投資実績によると、事業承継やカーブアウトが中心。

	AP IV-Sファンド	AP Vファンド	AP VIファンド	
事業承継	ほくおうグループ アイオニック 投資時期：2013年4月 投資時期：2015年3月	きずなホールディングス 投資時期：2015年11月	庫や 投資時期：2018年8月	一風騎士ホールディングス 投資時期：2020年12月
	レイ・カズン 投資時期：2013年10月	日本ポップコーン 投資時期：2015年11月	ICI石井スポーツ 投資時期：2016年2月	マテリアルグループ 投資時期：2019年2月
	CRTM 投資時期：2014年4月	ユナイテッド・プレジジョン・テクノロジーズ 投資時期：2015年11月	エムピーキッチン 投資時期：2016年6月	パスメイクホールディングス 投資時期：2019年5月
	エフ・エム・アイ 投資時期：2014年7月	イチボシ 投資時期：2016年2月	おいしいプロモーション 投資時期：2017年2月	カジ・コーポレーション 投資時期：2019年9月
カーブアウト	ウェイブダッシュ 投資時期：2015年2月	やる気スイッチグループ 投資時期：2017年5月	ワールドコーポレーション 投資時期：2019年11月	
	ファスフォードテクノロジー 投資時期：2015年3月	富士通インターコネクトテクノロジーズ 投資時期：2020年1月	ネットプロテクションズ 投資時期：2016年7月	フィード 投資時期：2020年9月
マイノリティ投資	りらく 投資時期：2013年10月	コスモライフ 投資時期：2019年6月	キット 投資時期：2020年12月	スターフライヤー 公表時期：2020年12月

- 日興アントファクトリーを前身とするファンド運営会社。プライベート・エクイティ投資とセカンダリー投資の大きく2つの投資事業を展開している。

会社名

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社

代表者

飯沼 良介

所在地

東京都千代田区丸の内一丁目2番1号
東京海上日動ビルディング新館5階

設立

2000年10月23日

主な 運営ファンド

エーエフジェーカタライザー1号投資事業組合
アント・カタライザー2～5号投資事業有限責任組合
アント・ブリッジ1～5号投資事業有限責任組合

参考文献

事業承継とバイアウト
事業再生とバイアウト
続・事業承継とバイアウト - 製造業編 -
続・事業承継とバイアウト - 小売・サービス業編 -
続・事業再編とバイアウト
日本のLBOファイナンス

経営理念 ・投資方針

Ant Capital Partnersの投資に関する基本的信条

- 投資に際しては情実を排し収益的合理性を重視して厳しく選別する
- 投資は投資先との信頼関係の構築が前提であり、投資先、株主、出資者との信頼関係が損なわれかねない状況においては、当社への信頼の維持が利益に優先する
- 投資先には積極的に関与し、企業価値の増大をもたらすことに全力をつくす
- 本質的な課題に応え、人の喜びを創造するために、つねに常識を疑い、大胆な変革者であり続ける

プライベート・エクイティ投資における対象と重視するポイント

- 業種・業界：全ての業種・業界が検討可能
- 候補企業・取引：安定したキャッシュフローが見込まれる中堅企業で、以下のような特徴を持つ企業・取引
 1. オーナー企業の事業承継
 2. 未上場企業の資本政策の見直し、上場企業の非公開化
 3. 大企業による事業ポートフォリオの再構築
- 事業のポテンシャル：企業価値向上へ向けた実現性の高い戦略・施策の策定が可能
 1. 経営陣とのディスカッション・相互信頼を重視し、ともに企業価値向上を目指すことができる
- 将来の企業ビジョン：将来の資本政策・株主構成に関する認識の共有
 1. 企業の長期的な成長にとって最良の結論を模索
 2. 投資実行の前段階から経営陣と協議

■ PE投資として、2010年以降15件の投資実績を有する。

2010年～2015年

2016年～

事業承継

アップルワールド **マルホン**
投資時期：2014年7月 投資時期：2015年6月

壮関
投資時期：2014年11月

マルサヤ **スプラウトインベストメント** **アミークス**
投資時期：2016年3月 投資時期：2017年12月 投資時期：2020年3月

ニューオークボ **アミノ**
投資時期：2017年10月 投資時期：2019年8月

カーブアウト

アントレ
投資時期：2019年4月

MBO

Casa
投資時期：2013年9月

ムーンスター
投資時期：2013年10月

フェニックスインターナショナル
投資時期：2018年12月

その他

アロスワングループ **APEXホールディングス**
投資時期：2016年1月 投資時期：2020年11月

ヴィ・エス・テクノロジー
投資時期：2020年6月

- 元リップルウッド・ジャパン代表の植田氏が創業。社名の由来は、1950年代から1960年代にかけて活躍した大相撲力士、岩風角太郎。

会社名

いわかぜキャピタル株式会社

代表者

植田 兼司

所在地

東京都港区虎ノ門三丁目7番10号
ランディック虎ノ門ビル9階

設立

2008年2月

運営ファンド

いわかぜ1号投資事業有限責任組合
いわかぜ2号投資事業有限責任組合

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

経営理念

投資先企業のバリューアップを通じた社会への貢献

「ファンドと共に企業が成長し、利益を上げ、社会に貢献する」ことを目的として適切な企業への投資を行います。そのためには友好的な買収と投資後のハンズオンのバリューアップ・プロセスが重要になります。

投資方針

- 日本の中堅・中小企業（ミッド・スモール・キャップ）への投資と育成
- 独自の強みとポテンシャルを持つ企業への投資
- ノンオークションディールに特化
- 友好的買収とハンズオンのバリューアップ活動
- 高いリターンと効率的な配当還元の実現
- クリーン・ディスクロージャーによる透明な運用

- 2つのファンドで7件の投資実績を有する。

1号ファンド

ゴンゾ

投資時期
2008年10月

事業内容
1,269話のライブラリーを有するハイクオリティーアニメのプロデューサー・制作スタジオ。日本国内の独立系アニメ制作会社の中でもライセンスを保有する稀有な存在

エイムス

投資時期
2008年11月

事業内容
自動車ボディーの金型エンジニアリング会社。金型の設計・製造に関して幅広い知識・経験及び豊富な人材を有する

2号ファンド

新和

投資時期
2017年9月

事業内容
Aging Beef及びGrilled Aging Beefのブランドで熟成和牛焼肉並びに熟成和牛ステーキ店を首都圏を中心に9店舗運営するレストランチェーン

ダイニングファクトリー

投資時期
2018年11月

事業内容
栃木県宇都宮市を拠点に、複数の業態で北関東、首都圏、東北地方を中心に展開する多業態フードサービス会社

テキサスハンズ

投資時期
2019年6月

事業内容
福井県を中心に北陸地方で12店舗を運営するカジュアルタイプの手作りピザ専門店。持ち帰り、店内飲食に特化し、注文を受けてからピザを作り始めるなど、独自のビジネスモデルを開発

東北建設企画

投資時期
2020年7月

事業内容
宮城県仙台市を拠点に北海道から北関東までを主な営業エリアとする創業30周年（2020年投資時点）の大規模修繕請負会社

保安道路企画

投資時期
2020年12月

事業内容
横浜を拠点に道路保安用品の開発・製造・販売・リースなどを手がける。特にオリジナル製品のポストフレックスは低価格で復元力の高い製品として、日本全国の自治体や民間の施設で利用されており、その復元力の高さからフジテレビ系列の番組でも取り上げられている

- 元ユニゾンキャピタル代表・GCA創業者である佐山氏とGCAの創業者である山本氏が設立したファンド運営会社。

会社名

インテグラル株式会社

代表者

佐山 展生、山本 礼二郎

所在地

東京都千代田区丸の内一丁目9番2号
グラントウキョウサウスタワー10階

設立

2007年9月

運営ファンド

インテグラル1号ファンド (112億円)
インテグラル2号ファンド (442億円)
インテグラル3号ファンド (730億円)
インテグラル4号ファンド (1,238億円)

参考文献

事業再生とバイアウト
プロフェッショナル経営者とバイアウト
続・事業承継とバイアウト - 製造業編 -
続・事業再生とバイアウト
バイアウト
日本のLBOファイナンス

経営理念 ・投資方針

経営理念 / 『Trusted Investor』 - インテグラル

我々がインテグラルを設立した背景には、21世紀、日本企業が大きな改革を進めていくには、資本家と経営者が、お互いに深く信頼し合う事が必要不可欠であるという強い思いがあります。

歴史を振り返ってみても、産業革命、明治維新、戦後の高度経済成長等、経済社会の大きな変革期には、必ずと言って良いほど、資本家（キャピタル）と経営者（イノベーション）が強い信頼関係の下、共通の目標を持ち、時代の変化に立ち向かい続けることで、企業を発展に導いています。

グローバル資本主義の進化、グローバル競争の激化、人口構造の変化、社会貢献の必要性等、日本企業の経営を取り巻く環境がよりチャレンジングになる中、『Trusted Investor=信頼できる資本家』を目指して、投資活動を行っていきたいと考えています。

投資アプローチ

- 非上場・上場企業のエクイティへの投資を行います。普通株に加えて、転換権付優先株、転換社債、新株予約権等エクイティ性のあるものが主な対象となります。
- 対象企業の全株を取得するMBO・LBOからマイノリティ投資まで幅広く対応します。
- 対象業界についての制約はありません。

■ 成長支援を中心に、これまでに23件の投資実績あり。

	1号ファンド	2号ファンド	3号ファンド
成長支援	ティー・ワイ・オー 投資時期：2010年12月 TBIホールディングス 投資時期：2013年9月	信和 投資時期：2014年9月 コンヴァノ 投資時期：2014年10月 キュービーネット ホールディングス 投資時期：2014年12月	ジェイトレーディング 投資時期：2015年2月 アデランス 投資時期：2016年11月 大泉製作所 投資時期：2016年12月
	APAMAN 投資時期：2011年3月 ファイベスト 投資時期：2011年10月		ダイレクト マーケティングミックス 投資時期：2017年9月 ビッグツリーテクノロジー &コンサルティング 投資時期：2018年8月 東洋エンジニアリング 投資時期：2019年3月
			日東エフシー 投資時期：2019年6月 JRC 投資時期：2020年1月 豆蔵ホールディングス 投資時期：2020年3月 T-Garden 投資時期：2020年3月
再生支援	ビー・ピー・エス 投資時期：2009年1月 ヨウジヤマモト 投資時期：2009年12月	スカイマーク 投資時期：2015年2月 イトキン 投資時期：2016年2月	
カーブアウト			サンデン・リテールシステム 投資時期：2019年10月
事業承継	シカタ 投資時期：2010年11月		

- 社名は「Asian Capital Alliance」の略称。アジア・戦略・事業承継・ヘルスケア・セカンダリーの5つの投資事業を展開する。2018年に主要株主であった住友商事（40%）から経営陣が株式を取得し、独立。

会社名	ACA株式会社
代表者	東 明浩
所在地	東京都千代田区永田町一丁目11番30号 サウスヒル永田町5階
設立	2005年4月1日
運営ファンド	ACAセカンダリーズ1号投資事業有限責任組合 など
参考文献	未詳

経営理念 ・投資方針

事業承継投資／投資を通じて中小企業に更なる成長を

中小企業は日本に存在する企業の大半を占め、製造やサービスなどの各分野で大きな役割を果たしているだけでなく、雇用の重要な担い手にもなっている経済の立役者とも言える存在です。

しかしながら国内外において経営環境の変化が急速に進む現在、海外拠点の整備やICT技術の業務への活用、後継者の育成など中小企業が直面している課題はますます複雑になってきています。

弊社（ACA）は、中小企業への投資に特化することで蓄積した企業価値向上のノウハウや、アジア各国に保有している専門家や事業会社とのネットワークを活用し、投資先企業が抱えるさまざまな問題の解決に真摯に取り組みます。

事業を徹底的に理解し経営陣との信頼関係を築いた上で、企業の実情を踏まえた変革プランをご提案するだけでなく、事業・経営支援のプロフェッショナルによる積極的な現場支援を通じて、投資先企業の革新と発展を全力でサポートいたします。

■ 事業承継投資・戦略投資チームの主な投資実績は、以下の通り。

事業承継 投資チーム

アニメインターナショナルカンパニー

フレックスコミックス

ウィーヴ

インターグロー

ほるぷ出版

ファイティングロード

スタンダードマガジン

映劇

テックファーム

武田産業

トレード

五輪パッキング

バックウエル

CSS技術開発

ユニオンデータシステム

産電

Polite

湖都コーポレーション

相生設計

アムス警備

シーアールエス

ベクトル伸和

熊本利水工業

*事業承継案件は投資時期非公開のため、サイト掲載順に記載

戦略 投資チーム

クリエイトSDホールディングス

投資時期：2010年7月

ホットランド

投資時期：2011年12月

Alpha Supply Chain Group

投資時期：2015年2月

カラフル・ボード

投資時期：2015年3月

ワークスアプリケーションズ

投資時期：2017年9月

FRACTALE

投資時期：2017年11月

*戦略投資案件は投資時期が2010年以降のものを記載

- あおぞら銀行・東京スター銀行・兼松・エスネットワークスの4社が参画するファンド運営会社。

会社名	AZ-Star株式会社
代表者	細野 克也、森田 浩史
所在地	東京都千代田区五番町2番地7 五番町片岡ビル1階
設立	2015年2月18日
運営ファンド	AZ-Star 1号投資事業有限責任組合 AZ-Star 2号投資事業有限責任組合 AZ-Star 3号投資事業有限責任組合 (2018年 127億円)
参考文献	未詳

経営理念 ・投資方針

設立の目的

本ファンドは、独自の技術やサービス等を有する国内の中堅・中小企業の中で、事業承継やMBO/カーブアウト・ニーズのある企業に投資を実施し、本ファンドから資金、人材、ノウハウ、ネットワーク等を提供することで、アジア関連事業の強化/企業価値向上を支援することを目指します。

投資方針

- 経営関与：ハンズオン支援を通じた投資先企業の企業価値向上を行うため、原則としてマジョリティの確保を目指します。
- 投資スタンス：投資対象企業の中長期的な企業価値向上に資する投資を行います（事業売却/清算等による短期的なリターンは追及しません）。
- 事業価値重視：不良債権投資、再生型投資、資産取得型投資ではなく、事業価値重視の投資を原則とします。
- コンプライアンス重視：公序良俗に反する企業もしくはそのおそれがある企業には投資しません。また投資実行・バリュアアップ・EXITの各ステージにおいて、コンプライアンスを重視した活動を行います。
- 投資スキーム：議決権ベースでマジョリティを取得する形を基本とし、可能な限りレバレッジを活用したスキームを中心としますが、投資対象企業の課題・状況なども踏まえて柔軟に対応していきます。
- 投資方法：普通株式の取得を基本としますが、案件によっては優先株や新株予約権を組み合わせたスキームなども選択します。

■ HPによると、4件の投資実績あり。

プレミアファイナンシャルサービス

投資時期

2015年6月

事業内容

オートクレジットおよびワランティ事業

Exit方法

東京証券取引所第二部への新規上場

ジー・プリンテック

投資時期

2017年3月

事業内容

カードプリンター及び関連機器の開発・製造・販売（OEM）

Exit方法

事業会社へのトレードセールス

エコシティサービス

投資時期

2018年5月

事業内容

地方公共団体等からのBPO受託業務

Exit方法

事業会社へのトレードセールス

カルネコ

投資時期

2018年9月

事業内容

販促物の製作及び販売事業

- あおぞら銀行・日本アジア投資が50%ずつ出資するファンド運営会社。

会社名

AJキャピタル株式会社

代表者

小林 正行

所在地

東京都千代田区九段北三丁目2番4号

設立

2018年4月24日

運営ファンド

サクセッション1号投資事業有限責任組合

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

運用ファンド「サクセッション1号投資事業有限責任組合」の概要

昨今の日本では、高齢化が進み、中小企業のオーナー経営者にとって事業承継者の不在が深刻な問題となっています。
黒字企業のうち後継者不在に悩む企業は、実に20万社にもものぼると言われています。

これに伴い事業承継の手法も多様化しており、近年ではM&Aによる事業承継が主流となっています。

当ファンドでは、このような中小企業に対し資本政策を立案し事業承継スキームの中で投資を行います。
投資後は様々な成長支援を実施し、投資先の企業価値を向上しつつ事業承継の諸問題を解決します。

当社（AJキャピタル）は、当ファンドによる投資を通じて、日本の地域経済の要となる中小企業のオーナー経営者を支援し、日本経済の発展や地域創生に貢献してまいります。

- 1件の投資実績あり。

ウエタニ

投資時期

2019年5月

事業内容

店舗等内装工事の施工、特注家具の製造、販売

所在地

大阪府大阪市西成区天下茶屋 2-18-33

■ SBIグループのファンド運営会社。後継者問題を抱える国内中小企業への投資を目的としたSBI地域事業承継ファンドを運営する。

会社名

SBI地域事業承継投資株式会社

代表者

北尾 吉孝、川島 克哉

所在地

東京都港区六本木一丁目6番1号

設立

2019年2月

運営ファンド

SBI地域事業承継投資1号
投資事業有限責任組合（100億円超）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

2019年10月4日プレスリリースより抜粋。

本ファンドの投資対象は後継者問題を抱える中堅・中小企業で、これまで一般的な事業承継ファンドが投資対象としてこなかった小規模な企業にも投資を行う予定です。特に小規模な企業は後継者問題を抱えている割合が高く、本ファンドに出資いただく地域金融機関等をはじめとした様々なネットワークを活用し、支援していきます。日本全国を対象とすることで地域を超えた業界再編やバリューチェーン上の垂直統合等による一層の成長をサポートし、さらにSBIグループの投資先・取引先企業の先端技術やノウハウ等を活用して企業価値の向上を図ってまいります。

SBI地域事業承継投資は黒字経営にもかかわらず、後継者不在等により廃業せざるを得ない中堅・中小企業を資金面・人材面・地域を超えたSBIグループのネットワークを活用してサポートすることで、「①概要地域に必要な中堅・中小企業の存続」を通じて、「②投資実績地域の雇用や取引先を守り」、「③地域活性化への貢献と融資機会提供等による地域金融機関の経営環境改善への貢献」という「三方良し」を目指します。

- プレスリリースによると、こちらの投資実績の他、2件の投資（買収）実績があるとのこと。

徳島共和薬品

投資時期

2020年3月

事業内容

保険調剤薬局チェーン経営・医薬品卸売業

所在地

徳島県徳島市丈六町西高木64-1

- 三井物産・三井住友銀行・日本政策投資銀行の3社が共同運営しているファンド運営会社。

会社名

MSD企業投資株式会社

代表者

前田 英樹、安田 浩

所在地

東京都千代田区大手町一丁目9番2号
大手町フィナンシャルシティグランキューブ19

設立

2015年9月1日

運営ファンド

MSD第一号投資事業有限責任組合（300億円）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

基本理念

日本企業による日本企業のための投資事業会社として
企業の課題解決と成長実現を支援し
投資先企業の価値最大化を通じ
日本経済・社会へ貢献する

支援方針

- 企業の有する理念、文化、事業、人を理解・尊重し、「パートナー」としての信頼関係を築く。
- 自立・永続する企業・事業の実現のため、長期的視野に立ち、企業・事業の有する「本源的な価値」を共に考え・創造する。
- 当社スポンサーの「ネットワーク・総合力」を融合・最大活用し、企業の次の発展フェーズまでの成長を事業・財務双方で支援・実現する。

■ これまでに7件の投資実績あり。

日本電解

投資時期

2016年7月

事業内容

電解銅箔製造

ビギホールディングス

投資時期

2018年1月

事業内容

洋服・服飾雑貨の企画製造・販売
事業

ビキジャパン

投資時期

2018年4月

事業内容

婦人既製服、繊維製品、アクセサ
リ一類の製造販売

海洋堂

投資時期

2020年6月

事業内容

フィギュア、ガレージキットの企
画、製造、販売

エストー

投資時期

2017年10月

事業内容

超精密射出成形品用金型の設計・製
作、超精密射出成形品の加工

ナップス

投資時期

2018年1月

事業内容

オートバイ用品／部品の小売・開発

ユナイテッド計画

投資時期

2018年7月

事業内容

産業廃棄物処理、建設・解体工
事、バイオマス発電

■ MCo（エムコ）は、2005年設立の老舗メザニンファンド運営会社。これまでに6つのメザニンファンドを組成・運営。

会社名	MCo株式会社
代表者	笹山 幸嗣
所在地	東京都中央区京橋2-4-12 京橋第一生命ビルディング5階
設立	2005年10月（前身の株式会社メザニンの設立時期）
運営ファンド	MCo1～6号投資事業有限責任組合
参考文献	日本のLBOファイナンス

経営理念 ・投資方針

MCo Value

MCoは、豊富な経験を有するメンバーと確かな投資実績を裏付けに、投資先企業の最良のパートナーとして企業価値の向上をサポートいたします。

- 独立系
- 創造的なストラクチャリング
- 柔軟なサポート
- 迅速な意思決定
- 幅広いネットワーク

投資方針

- 投資対象：業種、企業規模、上場・非上場を問わず、一定の事業基盤を有する企業を幅広く投資対象としています。
注）不動産物件投資のみを主体とする投資は対象としていません。
- 投資タイプ：MBO・バイアウト・M&A等の買収ファイナンス、バランスシート再構築のための資本調達、設備投資・成長資金等の資金調達など、様々なニーズに対応します。
- 投資商品：投資先企業のニーズに合わせて、優先株式・劣後ローン等、主に議決権の希薄化を生じさせない資本性の商品に投資を行います。

■ 個別案件の開示はないが、近年はLBOにおけるメザニン投資（バイアウトメザニン）が多数を占めている。

	～2010年	2011～2015年	2016年～
LBO	2008年 50億円・35億円・7億円 2009年 50億円 2010年 21億円・20億円	2011年 16億円・25億円 2012年 35億円・12億円 2014年 9億円・28億円・20億円	2016年 10億円・31億円 2017年 48億円・20億円 2018年 45億円・40億円・65億円・2億円 2019年 10億円・63億円・100億円・20億円 2020年 80億円
純粋MBO	2008年 25億円 2010年 22億円・20億円	2013年 5億円	2017年 30億円・10億円
資本・負債再構築	2007年 30億円・50億円 2010年 10億円	2015年 25億円	2016年 27億円 2020年 50億円
資本増強		2013年 5億円 2014年 25億円	2019年 50億円

- 中国・日本・韓国・香港を中心に投資を行う韓国系のファンド運営会社。

会社名

MBKパートナーズ株式会社

代表者

未詳

所在地

東京都千代田区永田町二丁目10番3号
東急キャピトルタワー12階

設立

2005年3月

運営ファンド

MBK Partners I ~ IV
Special Situations I

参考文献

事業再編とバイアウト

経営理念 ・投資方針

Buyouts Strategy

- Dedicated North Asia focus
- Strong emphasis on control
- Value creation experience
- Local investment teams
- Strategic focus on core sectors

■ 日本では8件の投資実績あり。

1号ファンド

弥生

投資時期：2007年9月

Exit時期：2014年12月

2号ファンド

ユニバーサルスタジオジャパン

投資時期：2009年5月

Exit時期：2017年4月

インボイス

投資時期：2011年2月

Exit時期：2013年12月

コメダ

投資時期：2013年2月

Exit時期：2017年6月

3号ファンド

アコーディア・ゴルフ

投資時期：2017年2月・2019年2月

TASAKI

投資時期：2017年5月

黒田電気

投資時期：2017年12月

4号ファンド

ゴディバ（日本事業）

投資時期：2019年6月

- キャタルトン、LVMHモエヘネシー・ルイ ヴィトン、グループ・アルノーの3社の提携により設立されたコンシューマ業界に特化したグローバルなPEファンド運営会社。

会社名

Lキャタルトン・ジャパン株式会社

代表者

未詳

所在地

未詳

設立

2018年（日本法人）

運営ファンド

未詳

参考文献

未詳

経営理念
・投資方針

L Catterton Asia

Investments in middle market growth companies between \$50m and \$150m across Asia in local / regional brands and retail / distribution businesses.

- これまでに2件の投資実績あり。

OWNDAYS

投資時期

2019年

事業内容

メガネ・サングラスの製造販売・フ
ランチャイズ運営

所在地

株式会社オンデーズ
東京都品川区東品川2-2-8 スフィア
タワー天王洲 27F

ETVOS

投資時期

2020年

事業内容

化粧品製造・販売

所在地

大阪府大阪市淀川区西中島6-1-1
新大阪プライムタワー 12F

- ファンド黎明期に誕生したフェニックス・キャピタルを前身とするファンド。2013年より現在の社名に変更。

会社名

エンデバー・ユナイテッド株式会社

代表者

三村 智彦

所在地

東京都千代田区丸の内二丁目5番1号
丸の内二丁目ビル6階

設立

2013年4月24日
(前身のフェニックス・キャピタルは2002年設立)

運営ファンド

2002年以降、11本約3,000億円のファンドを組成・運営。
現在運営中のファンドは、次の2つ。

- エンデバー・ユナイテッド投資事業有限責任組合 (EUF) (227億円)
- エンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合 (EUF-2) (351億円)

参考文献

事業再生とバイアウト
プロフェッショナル経営者とバイアウト
続・事業再生とバイアウト
続・事業再編とバイアウト

経営理念 ・投資方針

ご支援の対象

- 事業承継
- カーブアウト
- 非公開化
- 資本増強
- 事業再生

投資先への経営サポート

- 経営課題の抽出と解決方法のご提案
- 戦略的な中期経営計画の策定および実行支援
- 経営管理体制の構築支援および第三者的な目線でのモニタリング実行
- 経営幹部人材の招聘・派遣 (経営幹部の交替時には、まずプロパー社員の登用を検討)
- シナジー効果を期待できるロールアップ候補先の紹介・実行支援 (投資先によるM&A)
- 弊社ネットワークや弊社投資先の紹介・連携を通じたシナジー創出支援
- 必要性に応じて追加資金支援も実施

■ 近年は投資ペースが増し、様々な業種の案件に投資している。

	2010～2015年	2016～2020年			
製造業	富士テクニカ宮津 投資時期：2013年5月 松原テクノ 投資時期：2015年2月	甲斐食産 投資時期：2017年4月 日本カタン 投資時期：2017年7月	クレファクト 投資時期：2018年7月 NPW横浜 投資時期：2018年7月	NES 投資時期：2019年3月 児玉化学工業 投資時期：2020年6月	ダイヤモンド 投資時期：2020年12月
	卸売業		サンライズ 投資時期：2020年1月		
飲食・小売業	中三 投資時期：2012年6月 花菱縫製 投資時期：2013年7月		パレモ・ホールディングス 投資時期：2016年10月 日本ピザハット 投資時期：2017年6月	ジャヴァホールディングス 投資時期：2018年3月 ポケットフーズ 投資時期：2019年11月	
	広告・印刷業	ジェイトップ 投資時期：2015年9月	JOETSU 投資時期：2017年10月 ENJIN 投資時期：2018年1月	マルキンアド 投資時期：2018年12月	
土木・建設業	オリエンタル白石 投資時期：2010年8月 佐藤建設工業 投資時期：2013年1月	旭シンクロテック 投資時期：2013年7月	今田建設 投資時期：2018年12月 ロゴスホーム 投資時期：2019年6月	中條工務店 投資時期：2019年7月 豊栄建設 投資時期：2020年3月	山和建設 投資時期：2020年4月
	その他		奥ジャパン 投資時期：2019年4月 トータルメンテナンスジャパン 投資時期：2019年6月	クリアライズ 投資時期：2020年3月	

- 1987年に米国で設立されたグローバルなPEファンド運営会社。日本には2000年に進出。

会社名

カーライル・ジャパン

代表者

山田 和広

所在地

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
新丸の内ビルディング

設立

2000年

運営ファンド

カーライル・ジャパン・パートナーズⅠ (500億円)
カーライル・ジャパン・パートナーズⅡ (1,656億円)
カーライル・ジャパン・パートナーズⅢ (1,195億円)
カーライル・ジャパン・パートナーズⅣ (2,580億円)

参考文献

プロフェッショナル経営者とバイアウト
カーライル流 日本企業の成長戦略

経営理念 ・投資方針

カーライルのアプローチ

30年前に設立されて以来、カーライルは常に、長きに亘るパートナーシップを構築することに主眼を置いてきました。長期的に持続可能な価値およびインパクトにつながるソリューションを、ビジネスパートナーの皆様と一緒に見つけ出しています。カーライルのグローバルプラットフォーム、各種業界に関する深いかつ多様な知見を活用し、信頼を築き上げ、優れたソリューションを提供し、より良い事業を築いてきました。どの投資案件にも、カーライルのプラットフォームを最大限に活用することで、新たなチャンスを発掘し、事業を変革し、イノベーションを生み出します。これこそがカーライルの強みです。

カーライルの強み

カーライルは投資業界のリーダーとして、多くのすばらしい投資先企業の経営陣の皆様と手を組み、より良い事業を築きインパクトを生み出しています。その背景には、カーライルのグローバルネットワーク、さまざまな業界に関する深い知見、そして多様性に富んだチームがあります。

カーライルの注力セクター

現在、世界中で272社の企業を投資先としており、不動産投資も390件以上行っています。

- 航空宇宙、防衛、政府系、消費財、メディア、小売、エネルギー、資本財（製造業一般・運輸）、インフラ、金融サービス、ヘルスケア、不動産、テクノロジー、ビジネスサービス

■ 当社プレスリリースによると、2016年以降、事業承継とMBOを中心に、以下の様な投資実績あり。

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
事業承継	<p>名水美人ファクトリー 投資時期：2016年3月</p> <p>ウイングアーク1st 投資時期：2016年3月</p>			<p>トキワ 投資時期：2019年3月</p>		<p>リガク 公表時期：2021年1月</p>
MBO	<p>マネースクウェアHD 投資時期：2016年10月</p>			<p>オリオンビール 投資時期：2020年11月 (事業承継かつMBO)</p>	<p>日本アジアグループ 投資時期：2020年11月にTOB開始 (TOB実施中)</p>	
未詳				<p>三共理化学 投資時期：2019年3月</p>		

- 富士銀行（現みずほ銀行）出身の刈田氏が創業したファンド運営会社。従来は個別案件ごとにターゲットファンドを組成していたが、2020年に1号ファンドを組成。

会社名

株式会社刈田・アンド・カンパニー

代表者

刈田 直文

所在地

東京都港区虎ノ門五丁目11番1号
オランダヒルズ森タワーRoP

設立

2007年5月

運営ファンド

K&C1号投資事業有限責任組合（2020年 91億円）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

投資ポリシー

- 事業運営とプライベートエクイティの実務家により構成されるチーム
- 事業者、金融機関、プロフェッショナルファームとのネットワーク
- 自ら合理的かつ果敢に意思決定するプライベートエクイティファンド
- 投資形態・規模の柔軟性

■ これまでに以下の様な投資実績あり。

2010～2015年

2016～2020年

MBO

ワークスアプリケーションズ

投資時期：2011年4月

シンプレクス・ホールディングス

投資時期：2013年8月

シンプレクス・ホールディングス

投資時期：2016年11月・2017年3月

事業承継

大將軍

投資時期：2016年3月

ROI

投資時期：2013年8月

セカンダリー
バイアウト

関東運輸工業

投資時期：2015年6月

- ゴールドマンサックスやモルガン・スタンレー出身の川村氏が設立。社名のキャス（CAS）は、「坂の上の雲」（司馬遼太郎）の訳である「Cloud Above Slope」に由来。

会社名

キャス・キャピタル株式会社

代表者

川村 治夫

所在地

東京都千代田区一番町2
パークサイドハウス5階

設立

2003年3月18日

運営ファンド

投資事業有限責任組合キャス・キャピタル・ファンド
一～七号（六号 135億円、七号 185億円）

参考文献

事業再編とバイアウト
プロフェッショナル経営者とバイアウト
続・事業承継とバイアウト - 製造業編 -
続・事業再編とバイアウト

投資方針

- 種類
企業あるいは事業向けの投資。マネジメント・バイ・イン（MBI）とマネジメント・バイ・アウト（MBO）のいずれも手がけています。
- 対象
大企業の非中核（ノンコア）事業部門、子会社および関連会社。中堅・中小企業等。
- 規模
企業価値 50億円～500億円（1社当り）程度。
- 期間
5年程度を投資期間の目処としています。

経営理念 ・投資方針

■ 2014年以降の投資実績は、以下の通り。

2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
もっとぎゅっと 少額短期保険 投資時期：2014年11月 Exit時期：2018年3月 Exit先：楽天	ケアプラス 投資時期：2015年10月 Exit時期：2018年6月 Exit先：総合警備保障（ALSOK） スタッフプラス 投資時期：2015年10月 Exit時期：2019年5月 Exit先：インフォコム		デコルテ 投資時期：2017年2月 アクトワンヤマイチ 投資時期：2017年2月 Exit時期：2019年12月 Exit先：ティーキャピタルパートナーズ	フードプラス・ ホールディングス 投資時期：2018年12月		シンコー 投資時期：2020年1月

■ 日本アジア投資グループのジャイク（JAIC）投資顧問を前身とするファンド運営会社。現在はクレアシオン・インベストメントの子会社。

会社名

クレアシオン・キャピタル株式会社

代表者

細谷 耕一

所在地

東京都港区赤坂九丁目7番1号
ミッドタウン・タワー37階

設立

1991年7月30日

運営ファンド

未詳

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

当社ファンドの特徴

1. フレキシブルな投資スタイル
 - 案件規模、ストラクチャー及びプロセス等に関して柔軟な対応
 - 投資実行前に経営陣との綿密な協議を行うことで、経営陣の意向を最大限尊重したストラクチャー設計を実施
2. IPO Exit志向
 - 当社ファンドが支援させて頂いた企業には、独立企業として永続的に発展して頂きたいという想いの下、ファンドのExit手法としては株式上場(IPO)を強く志向
3. 迅速かつ透明な意思決定
 - 当社はいずれの金融機関や事業会社グループにも属さない独立系の企業であるため、意思決定においては投資先の企業価値向上に資する可否かという視点で実施
 - また、少人数での運営となっているため、迅速な意思決定が可能
4. 豊富な事業支援ノウハウ
 - 過去の複数の投資実績により蓄積した豊富な投資先支援ノウハウの存在
 - 特に、株式上場支援の実績を豊富に有しており、株式上場支援ノウハウは当社の強み
5. PBとバイアウトの融合
 - 富裕層向け金融サービス業（PB）を由来とする豊富な個人富裕層リレーションを保有
 - 案件趣旨に賛同頂ける個人投資家のみを組み入れたターゲットファンド形式も採用できるため、柔軟なストラクチャー設計が可能

■ 2018年以降、年3件ペースで投資実績を積み上げている。

～2015年

Profit Cube

投資時期：2013年5月

Exit時期：2015年9月

スリーアローズ

投資時期：2012年5月

ティンパンアレイ

投資時期：2013年7月

Exit時期：2018年4月

キャンディル

投資時期：2014年9月

ビー・ワイ・オー

投資時期：2015年10月

レイオンコンサルティング

投資時期：2015年11月

2016年～2020年

アルコバレーノ

投資時期：2016年5月

ペイロール

投資時期：2017年6月

ファンタジーリゾート

投資時期：2017年11月

ビビッド

投資時期：2018年2月

ア・フィック

投資時期：2018年3月

POP

投資時期：2018年4月

doubLe

投資時期：2018年7月

乃が美ホールディングス

投資時期：2019年1月

Polite

投資時期：2019年5月

モード・プランニング・ジャパン

投資時期：2020年3月

ピルボックスジャパン

投資時期：2020年7月

Lakeside International Childcare

投資時期：2020年11月

■ KKRはコールバーグ・クラビス・ロバーツの略称。アメリカを拠点にグローバルに活動するファンド運営会社。日本には2006年に進出。

会社名

株式会社KKRジャパン

代表者

平野 博文

所在地

東京都千代田区丸の内二丁目1番1号
明治安田生命ビル11階

設立

2006年4月

運営ファンド

アジア1号ファンド (2007年 40億ドル)
アジア2号ファンド (2013年 60億ドル)
アジア3号ファンド (2017年 93億ドル)

参考文献

プロフェッショナル経営者とバイアウト

経営理念 ・投資方針

KKRのアプローチ

• 価値創造における専門知識

KKRは、投資先企業の経営陣とパートナーとして協業し、成長の実現と生産性向上を目指すアクティブな投資家です。

• ステークホルダー・エンゲージメント

KKRは、KKRの成功に貢献することのできる個人、投資家、国際組織や地域団体、投資先企業の経営陣や従業員といった全てのステークホルダーと協働します。

• 経験豊富で、安定した、深い洞察力のある投資チーム

KKRは「ワンファーム」アプローチに誇りをもっており、社内の様々な部門や地域拠点が積極的に協力してより良い結果を目指します。

• 創業以来の堅実かつ一貫した運用実績

KKRは、公開市場で達成しうる水準を大幅に上回る安定した高リターンをプライベート・エクイティの投資家に提供します。

• 世界規模の事業展開

KKRは自社の持つプロフェッショナルやアドバイザーのグローバルなネットワークに加えて、世界各地のビジネスリーダーとの関係を活用し、独自の投資案件を創出しています。

• 創造性と革新性

1976年の創業以来、共同創業者は創造性と革新性に基づく会社の構築に努めてきました。

• 業界に関する深い知見と独自の案件創出能力

KKRの投資アプローチは、グローバルビジネスへの投資につきものの複雑さに対処できるように考案されています。

■ HPやプレスリリースによると、以下の様な投資実績を有している。

**PHCホールディングス
(旧パナソニック
ヘルスケアホールディングス)**

投資時期
2014年

事業内容
各種ヘルスケア機器・サービスの開
発・製造・販売

**マレリ
(旧カルソニックカンセイ)**

投資時期
2017年

事業内容
独立系の自動車関連サプライヤー

フロムスクラッチ

投資時期
2019年

事業内容
マーケティングプラットフォーム
『b→dash』の開発等

**工機ホールディングス
(旧日立工機)**

投資時期
2017年

事業内容
電動工具メーカー

日立国際電気

投資時期
2017年

事業内容
電気機器メーカー

西友

投資時期
2020年

事業内容
食料品、衣料品、住居用品などの小
売チェーンの運営

- ヨーロッパを拠点とするファンド運営会社。

会社名

CVC・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社

代表者

赤池 敦史

所在地

東京都千代田区霞が関三丁目2番5号
霞が関ビルディング32階

設立

未詳

運営ファンド

Asia I (US\$ 750 millions)
Asia II (US\$ 1,975 millions)
Asia III (US\$ 4,120 millions)
Asia IV (US\$ 3,495 millions)
Asia V (US\$ 4,325 millions)

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

Private Equity Strategies in Asia

- What We Look For
High-quality businesses primarily in the consumer and service sector
- Typical Enterprise Value
€250 million - €1.5 billion+

Key drivers of outperformance are typically:

- Investing for organic growth
- Ensuring operational efficiency
- Securing top quality management teams
- Driving growth through acquisition
- Optimising capital structures

■ 当社HPによると、日本における投資実績として、以下の4件あり。

TechnoPro

投資時期
2012年

事業内容
Engineering staffing

Arteria Networks

投資時期
2014年

事業内容
Broadband and network solutions

Hitowa Holdings

投資時期
2016年

事業内容
Nursing and residential care

Riraku

投資時期
2017年

事業内容
Relaxation therapy services

- アジアの金融グループであるCLSAの資産運用部門。現在、汐留パートナーズとしてCLSAから独立する方向で進行中とのこと。

会社名

CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社

代表者

清塚 徳

所在地

東京都港区東新橋一丁目9番2号
汐留住友ビル16階

設立

2006年

運営ファンド

CLSA Sunrise Capital
Sunrise Capital II (約210百万ドル)
Sunrise Capital III (400百万ドル超)
Sunrise Capital IV (450百万ドル超)

参考文献

事業承継とバイアウト
続・事業承継とバイアウト - 製造業編 -
続・事業承継とバイアウト - 小売・サービス業編 -
続・事業再編とバイアウト

経営理念 ・投資方針

投資先支援方針

我々サンライズ・キャピタルのメンバーはプライベートエクイティ、投資銀行、経営コンサルティング、財務、会計、法務、事業会社、海外での勤務経験など、多様な経歴・経験を有するプロフェッショナルによって構成されています。投資先支援に当たっては、個社のニーズに柔軟に対応すべくオーダーメイド型で様々な支援を行いますが、サンライズ・キャピタルの支援方法には幾つかの特徴があります。

- ジョイント・ベンチャー型経営支援
 - 創業者は大半の株式を売却することにより、創業者メリットを享受
 - 他方、創業者は引き続き主要株主兼社長として経営の現場をリード
 - サンライズ・キャピタルは創業者のジョイント・ベンチャー「JV」パートナーとして新たな視点から経営支援
 - 但し、創業者のご要望に応じて、持分の100%取得も検討致します。
- 「ボディーオン」支援
 - 投資先の要請に応じサンライズ・キャピタルのメンバーが投資先に一定期間駐在し経営改革や上場準備等を支援（ハンズオンを超える現地駐在型支援「ボディーオン」支援）
 - 投資先支援や取締役派遣に対し、報酬・顧問料・交通費・配当等は一切請求せず、企業価値向上に全精力を傾注
- アジア展開支援
 - CLSAの広範なアジアネットワークと知見を活用し、投資先のアジア展開を積極的に支援

■ これまでに23件の投資実績あり。特に近年は多くの投資実績を積み上げている。

～2010年

日本建設

投資時期：2006年8月

機動建設工業

投資時期：2006年8月

トラステックスホールディングス

投資時期：2007年5月

日本インテグランドホールディングス

投資時期：2009年3月

エバーライフ

投資時期：2008年2月

バロックジャパンリミテッド

投資時期：2007年9月

2011年～2015年

ミライブ(旧名：BCN)

投資時期：2013年5月

ペイカレント・コンサルティング

投資時期：2014年6月

ワールドツール

投資時期：2015年5月

2016年～

ビーシーホールディングス

投資時期：2016年4月

キット

投資時期：2016年10月

Lcode

投資時期：2017年6月

MOA

投資時期：2018年3月

AB&Company

投資時期：2018年3月

ユニメイト

投資時期：2018年3月

ノーザ

投資時期：2018年3月

ハウスパートナー ホールディングス

投資時期：2018年8月

エコロホールディングス

投資時期：2018年12月

ワールドパーティー

投資時期：2019年3月

ブルーム

投資時期：2019年4月

Earth Technology

投資時期：2020年4月

アシスト

投資時期：2020年6月

ワールドプラス

投資時期：2020年8月

ライズ・コンサルティング・ グループ

投資時期：2020年8月

- 日本産業パートナーズ（JIP）のメンバーが運営する中堅・中小企業を対象としたファンド運営会社。

会社名

ジェイ・アイ・ピーキャピタル株式会社

代表者

原島 克

所在地

東京都千代田区丸の内二丁目1番1号
明治安田生命ビル15階

設立

2015年5月

運営ファンド

未詳

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

資本を供給し、人材を育成して企業成長戦略をサポートする。

資本だけではなく、人材、管理体制、内部けん制、販売戦略、IT化等中堅・中小企業で投資が制約される分野におけるアドバイスと人材を提供して、企業価値を高めることをオーナー様と一緒に真摯に考え、実行致します。

- 新規事業計画
- 経営改善計画
- 後継者育成、社員育成

- これまでに3件の投資実績あり。

マイム・コーポレーション

投資タイプ

事業承継

投資時期

2016年3月

事業内容

グッズ製作、販売の老舗

ブループリント

投資タイプ

成長投資

投資時期

2017年5月

事業内容

スマホゲームの開発、販売

コンフォート

投資タイプ

事業承継

投資時期

2018年3月

事業内容

高級内装施工、プランニング、販売

- 老舗ファンドの1社。HPが無いため情報は限定的。

会社名

株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ

代表者

所在地

設立

運営ファンド

参考文献

HPなし

経営理念
・投資方針

HPなし

- HPが無いため投資実績の情報も省略。

HPなし

- JAFCO出身者が設立した独立系のファンド運営会社。これまでに3つのファンドを組成・運営。

会社名	J-STAR株式会社	経営理念 ・投資方針
代表者	原 禄郎	
所在地	東京都千代田区丸の内三丁目4番1号 新国際ビル6階	
設立	2006年2月	
運営ファンド	J-STAR一号投資事業有限責任組合（2006年 120億円） J-STAR二号投資事業有限責任組合（2011年 204億円） J-STAR No.3 SS, LP等（2016年 325億円）	
参考文献	事業再生とバイアウト 続・事業承継とバイアウト - 製造業編 - 続・事業承継とバイアウト - 小売・サービス業編 -	
		4つの特徴 <ul style="list-style-type: none">• 課題解決型投資• 日本の中堅・中小企業を対象• 議決権の過半数以上を取得• 独立系投資会社 投資基準 <p>優れた経営者/幹部社員の存在 J-STARが関与することによる付加価値増大 ビジネスモデルの特異性/優位性</p> 案件規模 <p>エクイティ投資金額10億～30億</p> 保有期間 <p>3年～7年程度</p> Exit戦略 <p>事業会社等の第三者への譲渡、マネジメント・バイアウト、IPO等</p>

■ 2016年以降の投資実績は、以下の通り。

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
事業承継	アシロ	横井製作所	東京音響	中井工業	
	アイセイ薬局	サンスマイル	ウィゴー	新日本開発	
	プラティア	ジェーシー インターナショナル トレード	アーネスト		
成長支援		アルファコーポレーション			
		ハリタ金属	三和サービス	ペリプラス	
		越後屋			
		itty			
MBO		セクションエイト			
カーブアウト		JVCC			paiza
					シンシア ホットパレット

- 香港のCITICグループのPE部門。中国・日本・米国を対象とした中国ファンド・日本ファンド・米国ファンドを運営。

会社名

シティック・キャピタル・パートナーズ

代表者

未詳

所在地

東京都千代田区平河町二丁目16番1号
平河町森タワー10階

設立

2003年（東京オフィス開設）

運営ファンド

CITIC Japan Partners（2004年 約170億円）
CITIC Capital Japan Partners II（2010年 約180億円）
CITIC Capital Japan Partners III（2017年 約300億円）

参考文献

事業再編とバイアウト
事業承継とバイアウト
続・事業承継とバイアウト - 製造業編 -
続・事業承継とバイアウト - 小売・サービス業編 -
続・事業再生とバイアウト
続・事業再編とバイアウト

経営理念 ・投資方針

ミッションステートメント

- 成長への貢献
- 経営とのパートナーシップ
- 誠実

投資戦略

- 日本の中堅企業のハンズ・オン支援パートナー
- 成長戦略を軸とした付加価値創造
- 中国を中心とした国際的な視野を持った支援
- マジョリティ投資
- 対象事業

■ 投資実績は、以下の通り。

Exit済

ポッカコーポレーション

投資時期：2005年8月

Exit時期：2011年2月

鳴海製陶

投資時期：2006年8月

Exit時期：2015年2月

伸和精工

投資時期：2008年11月

Exit時期：2018年3月

東山フィルム

投資時期：2010年6月、2011年9月

Exit時期：2014年11月

Tri-Wall Holdings

投資時期：2010年7月

Exit時期：2016年10月

ポリマテック・ジャパン

投資時期：2012年11月

Exit時期：2017年8月

現投資先

ショットモリテックス

投資時期：2015年1月

MARK STYLER

投資時期：2015年5月

アカクラ

投資時期：2015年9月

モリテックス

投資時期：2016年1月

日本オイルポンプ

投資時期：2018年12月

アモイ・フード

投資時期：2019年2月

丸喜産業

投資時期：2019年10月

- 日本政策投資銀行・三菱UFJ銀行・三井住友銀行・みずほ銀行が主体となって設立。通称JIS。優先株式などの種類株式での投資が中心だが、2号ファンド以降は普通株式での投資も増加している。

会社名

ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ株式会社

代表者

廣本 裕一

所在地東京都千代田区丸の内二丁目2番2号
丸の内三井ビルディング3階**設立**

2010年9月29日

運営ファンドJIS1号ファンド（1,000億円）
JIS2号ファンド（1,050億円）**参考文献**

未詳

**経営理念
・投資方針****投資対象企業の規模**

- 中堅企業～大企業（上場、未上場問わず）

投資対象企業の業種

- 金融業を除く全ての業種

投資額の規模

- 最大260億円程度（投資案件1件あたり）

投資の手法

- 普通株、種類株、転換社債型新株予約権付社債、貸付債権

回収の方法

- 投資後3～5年経過後、以下の方法により投資回収
- 普通株：第三者への売却（トレードセール）または株式上場等による回収
- 種類株・転換社債型新株予約権付社債：普通株転換後の売却または現金償還による回収
- 貸付債権：現金等による回収

■ 各ファンドの投資実績は、以下の通り。

1号ファンド

2号ファンド

種類株

常磐興産

投資時期：2012年1月

SUMCO

投資時期：2012年5月

日本電子

投資時期：2012年7月

アルバック

投資時期：2012年9月

東京製綱

投資時期：2014年7月

ユニチカ

投資時期：2014年7月

シャープ

投資時期：2015年6月

トクヤマ

投資時期：2016年6月

日本板硝子

投資時期：2017年3月

曙ブレーキ工業

投資時期：2019年9月

日本電波工業

投資時期：2020年8月

ミツバ

投資時期：2020年9月

普通株

明光商会

投資時期：2014年12月

ブルームダイニングサービス

投資時期：2018年7月

北海道ナチュラルバイオグループ

投資時期：2018年11月

- いわゆるファンドではなく、「基金」の形式での長期保有を想定。ACAのメンバーが運営を担当。

会社名

JAPAN革新継承株式会社

代表者

近藤 Nick 直樹

所在地

東京都千代田区永田町一丁目11番30号
サウスヒル永田町5階

設立

2016年5月13日

運営ファンド

JAPAN革新継承基金（2015年）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

運用理念

経営バックグラウンドを有するJAPAN革新継承のメンバーがこれまで培ってきた企業投資と経営革新の経験を活かし、ビジネスモデル、ヒューマンリソース、ブランド力、業界ポジショニング、独自ノウハウ、カルチャー等、独自の強みを有する企業に対し、資金提供と協働経営を行い、その企業の良きパートナーとなり、その企業に必要な経営力、経営資源、経営アドバイス・サポートなど、企業に現存しない潤沢な外部の経営資源と資金を共に持ち込むことで、企業の潜在的な力が最大限に発揮される環境を用意いたします。透明性の高い最良の経営環境を導入することで社員のやる気と力を引き出し、社員一丸となって自らイノベーションを起こす組織を創りあげ、自社の商品・サービスにもイノベーションをもたらし、可能性のある企業はアジアおよび世界市場への参入などを支援することで、企業や日本がさらなる進化と飛躍をすることを目指し、結果として、顧客にはより良いサービスや商品を、出資者にもより社会的意義のある安定した運用を提供することを目的とします。

- 公開情報によると、投資実績は以下の通り。

ヴィノスやまざき

投資時期

2017年6月

事業内容

ワインの直輸入、小売、卸売
日本酒・あまざけの小売、卸売
ワイン専門店の運営
小売店、飲食店への卸売
通信販売

所在地

静岡県静岡市葵区常磐町 2-2-13

- 日本最大級のベンチャーキャピタル。東証一部上場。バイアウト投資も実施している。

会社名

ジャフコグループ株式会社

代表者

豊貴 伸一

所在地

東京都港区虎ノ門一丁目23番1号
虎ノ門ヒルズ森タワー24階

設立

1973年4月5日

運営ファンド

ジャフコSV4 (600億円)
ジャフコSV5 (650億円)
ジャフコSV6 (800億円)

参考文献

事業承継とバイアウト
プロフェッショナル経営者とバイアウト

経営理念 ・投資方針

Stance

「新事業の創造にコミットし、共に未来を切り拓く」
私たちは、起業家の志を理解し、深く共感することで、その事業の実現を目指していきます。

バイアウト投資

ベンチャーキャピタルのDNAをもとに、一貫して成長支援を柱に据え、様々な案件に伴う資本的独立と企業成長に、経営陣とともに取り組んでいます。

- Experience
ベンチャー投資で培った事業ポテンシャルの発掘
- Business Transformation
最先端のテクノロジーを活用した事業変革・成長支援
- Respect
企業文化の尊重、信頼関係重視の投資スタイル

■ HPで公開されている主な投資実績は、以下の通り。

独立支援/ カーブアウト

クラブツーリズム

投資時期：2004年4月

らでいっしゅぼーや

投資時期：2006年3月

ペイロール

投資時期：2013年4月

バンクテック・ジャパン

投資時期：2004年7月

キュービーネット

投資時期：2010年12月

非公開化

トーカロ

投資時期：2001年3月

すかいらーく

投資時期：2006年8月

明光商会

投資時期：2007年4月

事業再生

足利ホールディングス

投資時期：2008年6月

FLEXCEED

投資時期：2013年2月

五鈴精工硝子

投資時期：2015年1月

- SBI出身者が設立したファンド運営会社。投資対象ごとにターゲットファンド（スペシャルファンド）を組成して投資を行っている模様。

会社名

SynClover Capital Management株式会社

代表者

千葉 拓・四方 一郎

所在地

東京都千代田区麹町二丁目10番3号
エキスパートオフィス麹町

設立

未詳

運営ファンド

SCCM地域創生投資事業有限責任組合
SCCM2号投資事業有限責任組合
SCCM3号投資事業有限責任組合

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

SynClover Capital Managementの投資

- 事業承継
中堅・中小企業の事業承継・事業譲渡のニーズに応えます
- 事業再編
企業の部門独立、企業グループの再編などの支援を行います
- 事業再生
企業・事業の抜本的な改革により収益性を改革し、再生を支援します

■ HPによると、投資実績は以下の通り。

マルキン

投資時期

2019年6月

事業内容

バウムクーヘン、カップケーキ、マフィンケーキ、プチシュークリーム、ドーナツの製造販売

ラインナップ

投資時期

2019年12月

事業内容

- イベント施工サービス
- 内装施工サービス
- その他サービス

キノシタ

投資時期

2020年9月

事業内容

- オリジナルブランド「ABORD/アボール・Baobab/バオバブ・Calore/カロレ」の企画・開発・製造・販売
- 特注物件の注文家具の開発・製造・販売

- 新生銀行グループのファンド運営会社。事業として、バイアウト・ベンチャー・インパクト投資を展開。

会社名

新生企業投資株式会社

代表者

松原 一平

所在地

東京都中央区日本橋室町二丁目4番3号
YUITO/日本橋室町野村ビル

設立

2012年11月

運営ファンド

バイアウトのファンドについては未詳。
個別案件ごとにファンドを組成しているものと推察。

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

バイアウト投資

事業承継ニーズのある国内の中堅中小企業に対し、ファンドを通じて、株主議決権の過半数以上を保有し、ハンズオンでの経営支援により成長をサポート。優先株などメザニン出資を活用した円滑な事業承継の支援も積極的に行っていきます。

バイアウト投資概要

- 投資対象
事業承継ニーズのある国内の中堅中小企業
- 売上高
30～50億円程度
- 企業価値
20～50億円程度
- エクイティ投資金額
10億円以上

■ 主な投資実績は、以下の通り。

アズテック

投資時期

2017年8月

事業内容

医療関連製品の開発、製造及び販売。

ホクエイ

投資時期

2019年2月

事業内容

LPガス収納庫、ホームタンク、農業機械製造及び販売。

テクノクラフト

投資時期

2020年12月

事業内容

ゴルフカート管理システムの開発、製造及び販売。カーナビでのデジタルサイネージ広告や個人向けゴルフ関連アプリ開発。

京商

投資時期

2018年4月

事業内容

RCモデル、およびミニチュアカーモデルの製造及び販売。

オノプラント

投資時期

2019年4月

事業内容

航空機用、宇宙関連機器用構成部品、半導体製造装置部品の製造。

- 三菱UFJ銀行などが株主のファンド運営会社。事業承継ファンドとメザニンファンドを運営。

会社名

株式会社ソリューションデザイン

代表者

齋藤 隆広

所在地

東京都千代田区大手町一丁目6番1号大手町ビル4階

設立

2003年10月10日

主な 運営ファンド

夢承継1～3号ファンド（事業承継）
メザニン・ソリューション1～4号ファンド
ゆめ大阪ファンド
愛知中小企業再生ファンド
Next Stepファンド

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

夢承継3号ファンド（事業承継ファンド）

• ファンドの目的

事業承継問題や新たな成長戦略実現等の経営課題を抱える中堅・中小企業に対して、経営課題の解決を図り、潜在的な成長力を顕在化させ、企業価値の向上を実現することを目的とするファンド

• 投資対象

国内に事業基盤を有し、成長～安定ステージにある中堅・中小企業

- ①概要日本及び地域経済の牽引役として優れた事業基盤を有する企業
- ②投資実績事業承継問題の解決や新たな成長戦略支援を必要としている企業
- ③安定したキャッシュフローを期待できる企業

メザニン・ソリューション4号ファンド

• ファンドの目的

劣後ローンや優先株式等のメザニンファイナンス（下記7ご参照）による資金供給を通じて、企業の多様な資金ニーズに対するソリューション提供を目的とするファンド

• 投資対象

劣後ローンや優先株式等のメザニンへの投資

■ 個社別の投資実績は開示なし。事業承継ファンド・メザニンファンドの投資実績の概要は、以下の通り。

	1号ファンド	2号ファンド	3号ファンド	4号ファンド
夢承継 ファンド (事業承継)	製造業 2件 サービス業 1件 卸売業 1件	製造業 3件 サービス業 1件 卸売業 2件	製造業 2件 製造・販売業 1件	未組成
メザニン ソリューション ファンド	製造業 3件 サービス業 4件 小売業 1件 卸売業 2件	製造業 6件 サービス業 5件 小売業 1件	製造業 4件 サービス業 4件	製造業 1件

- 大和証券グループの投資事業会社。プライベート・エクイティ投資と金銭債権投資を事業として展開。日本国内だけでなくアジアの企業にも投資を行う。

会社名

大和PIパートナーズ株式会社

代表者

荒木 秀輝

所在地

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
グラントウキョウ ノースタワー

設立

2001年10月（前身である大和証券SMBCプリンシパル・インベストメントの設立時期）

運営ファンド

DPIP企業支援1号 など

参考文献

事業再編とバイアウト

経営理念 ・投資方針

プライベート・エクイティ投資

私たちは、事業の発展や再生のために資金調達を希望される企業様のニーズに対応し、株式や社債による投資を行うと共に、様々なサポートを通じて投資先企業の企業価値向上を実現し、投資収益の拡大を目指して参ります。

■ 国内の投資案件として、次の様な投資実績あり。

Exit済

アコーディア・ゴルフ	三洋電機
ホットランド	出光興産
中山製鋼所	三井住友建設
フェリシモ	スターフライヤー
旭川ホテル・ホールディングス	丸善
グランビスタホテル&リゾート	VSN
鴻池運輸	日本コークス工業
寿製作所	グローブライド
新星堂	キャビン
日本ドライケミカル	アイング
HMVジャパン	明星電気
GDH	オギハラ
ベリテ	日興電機工業
三井生命保険	

投資中

白山

博心

エナックス

東京ケータリング・ホールディングス

ヒューマン・アソシエイツ・ホールディングス

エー・エル・シー

Spiber

セカイエ

リビングプラットフォーム

WHILL

オプトラン

アコーディア・ゴルフ・トラスト

カンタツ

*サイト掲載順に記載。

- ファッション業界のワールドと日本政策投資銀行が共同で設立したファンド運営会社。投資先の成長支援と国内ファッション産業の活性化を目的とする。

会社名

株式会社W&Dインベストメントデザイン

代表者

田口 敬二郎、本松 真一

所在地

東京都港区北青山3丁目5番10号

設立

2017年6月

運営ファンド

W&Dデザイン投資事業有限責任組合

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

W&DiDの理念

世界中で「Design」が注目されている中で、私たちは「投資」を通じて以下を目指します。

1. 新しい、ビジネスをデザインする
2. 新しい、ファッション・ブランドをデザインする
3. 新しい、生活スタイルをデザインする

投資ストラテジー

- 「パッション（情熱）」を重視します・・・その事業にかける「熱い思い」が何よりも大切であると考えています。
- 「パッション」の対象は、「ファッション」（アパレル、雑貨のブランド等）を中心としますが、新しいファッションの魅力を高める事業や技術、サービスも対象としています。
- 投資スタイルは、成長支援、MBO（Management Buy-Out）、子会社・事業のカーブアウト、事業の再成長等幅広く対応します。
- 「ライフスタイル全般をファッション」と捉え、リブランディング、業界再編にも対応していきます。
- 日本各地の多様かつ個性あるファッション企業の成長性課題や事業承継等に対してもソリューションを提供します。

- これまでに3件の投資実績あり。

YOUR SANCTUARY

投資時期

未詳

事業内容

ラグジュアリーブランド「CYCLAS」の企画・製造・卸、スペシャリティストア「The SECRETCLOSET」の

所在地

東京都新宿区岩戸町18 日交神楽坂ビル4階

ヒロフ

投資時期

未詳

事業内容

バッグを中心にシューズや革小物を展開

所在地

東京都渋谷区恵比寿南1-15-1

リデア

投資時期

2020年11月

事業内容

セレクトショップ「STRASBURGO（ストラスブルゴ）」の運営や、海外ブランドの小売・卸売業

所在地

東京都港区北青山3-5-12 青山クリスタルビル8階

- 日本アジア投資の出身者が設立したファンド運営会社。現在、3つのファンドを運営している。

会社名

WMパートナーズ株式会社

代表者

松本 守祥、徳永 康雄

所在地

東京都千代田区麹町三丁目2番地
垣見麹町ビル別館4階

設立

2013年7月

運営ファンド

WMグロース3号投資事業有限責任組合（62億円）
WMグロース4号投資事業有限責任組合（106億円）
ジャパンプライベートエクイティオポチュニティファンド
2014（72億円）

参考文献

プライベート・エクイティ投資の実践

経営理念 ・投資方針

独立系プライベート・エクイティ・ファーム

WMパートナーズは、日本アジア投資株式会社（東京証券取引所市場第一部）の一部門として2002年に発足以来、10年超にわたり投資活動を行ってきた投資チームのコアメンバー（松本、徳永、寺部）が中心となり設立した独立系プライベート・エクイティ・ファームです。

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナル集団

プライベート・エクイティ業界において10年以上の経験と様々なバックグラウンドを持つ投資プロフェッショナルがチームを構成しています。また、各メンバーが投資の経験だけではなく、事業オペレーションやマネジメント経験が豊富なことが特徴です。

プライベート・エクイティの流動性を提供

金融機関、事業法人、ファンド、個人が保有する既発行の未公開株式、未公開株式を投資対象とした運用期間中のファンドの出資持分を取得を通じて、流動性の低いプライベートエクイティ資産に対してソリューションを提供致します。

グロース・ステージ企業の更なる成長を支援

既に事業基盤がありながらも潜在的な技術力、事業性、サービスがありながら十分に活かしきれていないベンチャー・中堅中小企業は多数存在しています。WMパートナーズではこうした企業のエクイティ・パートナーとして、資本構成の見直し、人材・資金・ノウハウの提供を行い新事業展開、事業の再編、海外進出による更なる成長を支援致します。

■ 現在までに30件の投資実績あり。

ソフトウェア	レッドフォックス クラウディアン	VALUENEX シャノン	医療ヘルスケア	日本インプラント PENTAS	アルム リージャー
ネクスト コマース	RECLO AMS	B4F デファクトスタンダード	デジタル マーケティング	ZETA ネットマーケティング	ユニメディア ライブレビュー ション
コンシューマー	ウインライト ギークス	リアルスタイル 結わえる*	日本鞆材*	その他	エイスリー ソノーラテクノロジー クララオンライン リンクアンドコミュニケーション TAKUMI*
金融	ほけんの窓口グループ レオス・ キャピタルワークス	ISホールディングス 富山第一銀行			

*結わえる・日本鞆材・TAKUMIの3社はHP上で未分類のため、弊社で分類。

- 東京海上キャピタルを前身とし、2019年にMBOにより独立し現社名に変更。

会社名

ティーキャピタルパートナーズ株式会社

代表者

佐々木 康二

所在地

東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング11階

設立

1991年12月

運営ファンド

TMCAP98 (37億円)
TMCAP2000 (223億円)
TMCAP2005 (326億円)
TMCAP2011 (233.36億円)
TMCAP2016 (517.28億円) 他専用ファンド1件

参考文献

事業再生とバイアウト
続・事業再編とバイアウト

経営理念 ・投資方針

投資方針

私たちティーキャピタルパートナーズ株式会社は、安定した実績を有する国内の優れた中堅中小企業に投資するプライベートエクイティ投資を行っています。投資先企業の経営陣との相互信頼のもと、多様なバックグラウンド・業界知見を有するメンバーによる支援を通じて、投資先企業の良きパートナーとしてさらなる成長をサポートします。

投資対象

- 国内に主な事業基盤を有し、安定したキャッシュフローと中長期的に持続的な成長が見込まれる企業を主な投資対象としています。
- 幅広い業種を投資対象としています（特定の業種にフォーカスはしていません）。
- 1件あたりのエクイティ投資額は20～100億円、対象企業の企業価値は50～500億円を目安としています。
- 原則として、単独で過半数の株式シェアを保有する投資を行います。

投資形態

企業が有する経営課題に対し、資本、経営の両面からハンズオンで多様なサポートを行い、以下のあらゆる投資形態に対応し、企業価値向上を目指します。

- 事業承継型
- カーブアウト型
- 経営者独立型
- 再生支援型

■ 投資実績は、以下の通り。

	Exit済			投資中
事業承継	ケーイーシー 大和	ショクカイ 東日興産	アスプルンド 三起商行	WITHホールディングス 旭ハウス工業 今井航空機器工業 コンフェックス ロピア
カーブアウト	武州製薬 バーニーズジャパン	ゼロ ザイマックス	エンゼルフードシステムズ ビー・エス・シー	日本体育施設運営
MBO	泉精器製作所 MS&Consulting	昭和薬品化工 ベネックス	スポーツプレックス・ ジャパン	アクトワンマイチ
再生支援	スイートガーデン ワンビシアーカイブズ			

- 日本政策投資銀行（DBJ）のグループ会社。通称DBJ-IA（ディービージェイ・アイエー）。グループにおけるエクイティ投資機能を担う。

会社名

DBJ投資アドバイザー株式会社（DBJ-IA）

代表者

未詳

所在地

東京都千代田区大手町1丁目9番6号
大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

設立

2009年12月

運営ファンド

未詳

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

DBJ-IAは、DBJが中長期的な観点から投資先との信頼関係を重視する「成長戦略支援のための付加価値創造型エクイティ投資（VG投資プログラム）」を推進するために、2009年12月に設立されました。

DBJ-IAは、DBJの投資先となる企業の皆様が、M&A戦略、資本戦略、海外戦略等による成長戦略を実現するために、資金面のみならず、DBJの国内外ネットワークの活用や人材の確保・提供などを通じ、企業の皆様の成長・発展に貢献してまいります。

■ DBJのVG投資プログラムの実績として、以下の案件が開示されている。

マジョリティ投資 共同経営投資

デクセリアルズ

投資時期：2012年9月
投資額：189億円
Exit時期：2017年9月

エイブリック

投資時期：2016年1月
投資額：未詳
Exit時期：2019年12月

鬼怒川ゴム工業

投資時期：2016年10月
投資額：270億円

バリュープランニング

投資時期：2018年2月
投資額：未詳

シミックCMO

投資時期：2018年7月
投資額：85億円

事業パートナーとの 共同投資

ミネベアミツミ

投資時期：2017年8月
投資額：77億円

パーク24（事業パートナー）

投資時期：2017年8月
投資額：225億円

上場維持型 マイノリティ投資

パルコ

投資時期：2010年8月
投資額：150億円

参天製薬

投資時期：2011年2月
投資額：100億円

TSIホールディングス

投資時期：2015年8月
投資額：73億円

- 独立系のファンド運営会社。国内中堅企業にフォーカスして投資を実施。

会社名

株式会社トライハード・インベストメンツ

代表者

北島 尚樹

所在地

東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番2号
EKKビル

設立

2006年6月1日

運営ファンド

KKTHファンド（151億円）
中小企業連携促進ファンド（36億円）
KKTH2ファンド（180億円）
KKTH3ファンド（90億円）

参考文献

事業再生とバイアウト
プロフェッショナル経営者とバイアウト
続・事業承継とバイアウト - 製造業編 -

経営理念 ・投資方針

“BUILD THE FUTURE TOGETHER”

「共有」「共感」「共存」できる会社の未来を

利益を表す財務数値は全体像の中の一つにしか過ぎません。会社にとって最も重要なことは、経営陣・従業員・株主の全員がお互いを理解しあい、共通の目標を持つことだと考えます。

会社の目指すべき方向性を「共有」し、各々の考え方に「共感」することで、経営陣・従業員・株主が「共存」できる未来を構築する。それが、トライハード・インベストメンツの思いです。

投資方針

- 国内中堅企業へのフォーカス：中堅企業の多くが、大企業と比較して、ファンドの関与による経営改善の効果が具現化する可能性が高く、潜在的な企業価値向上の余地が大きい、という考えに基づき、国内中堅企業にフォーカスして投資を実行します。
- 相対形式による投資：弊社は、多数の投資ファンドによる競争が熾烈を極め、投資価額が企業価値よりも過大となる入札取引には参加せず、弊社の特徴を活かした独占交渉権に基づく相対形式の投資案件を中心に検討し、投資を実行します。
- 投資方針：積極的な経営関与が行える株式シェアを前提とした国内中堅企業に対するエクイティ投資を原則とします。業種は限定いたしません。
- 対象企業の規模：売上高数十億円から数百億円程度を中心とします。
- 投資期間・投資案件規模：投資期間を3年から5年とし、投資金額は5億円から40億円程度を中心とします。

■ HPによると、各ファンドの投資実績は以下の通り。

1号ファンド	中小企業連携促進ファンド		2号ファンド	3号ファンド	
コスモヘルス 投資時期：2007年9月	ビジョンメガネ 投資時期：2016年12月	上島製作所 投資時期：2018年3月	アンドモワ 投資時期：2015年10月	HPCシステムズ 投資時期：2018年1月	シーアールエス 投資時期：2020年7月
小松ライト製作所 投資時期：2007年9月	ホロスホールディングス 投資時期：2017年8月	ウエストユニティス 投資時期：2018年5月	ウエノ商事 投資時期：2016年2月	上島製作所 投資時期：2018年3月	ほっと・はあと 投資時期：2020年9月
花正 投資時期：2008年9月	アンドモワ 投資時期：2017年8月	ダイワエクシード 投資時期：2018年6月	CSS技術開発 投資時期：2016年10月	ウエストユニティス 投資時期：2018年5月	Ms. ID 投資時期：2020年9月
東海スプリング製作所 投資時期：2009年11月	アコール 投資時期：2017年12月	げんきやグループ 投資時期：2018年8月	ビジョンメガネ 投資時期：2016年12月	ダイワエクシード 投資時期：2018年6月	ハウジングエステート 投資時期：2020年12月
	ジェー・ピー・ディー清水 投資時期：2018年1月	アロートラストシステムズ 投資時期：2018年12月	ホロスホールディングス 投資時期：2017年8月	げんきやグループ 投資時期：2018年8月	
	HPCシステムズ 投資時期：2018年1月		アコール 投資時期：2017年12月	アロートラストシステムズ 投資時期：2018年12月	
			ジェー・ピー・ディー清水 投資時期：2018年1月		

- 三井住友トラスト・キャピタルが前身。2015年に香港のEvergloryグループが主要株主となり、現在の体制に。

会社名

トラスト・キャピタル株式会社

代表者

藤井 ダニエル 一範

所在地

東京都中央区日本橋室町4-5-1 さくら室町ビル8階

設立

2000年3月

運営ファンド

未詳

参考文献

日本のLBOファイナンス

経営理念 ・投資方針

投資領域

- **メザニン投資**
柔軟な設計に基づくメザニン投資
- **グロースキャピタル投資**
新たな成長を目指す中堅企業へのエクイティ投資
- **ファンドオブファンズ**
バイアウトファンドへの投資

- 投資実績として、以下の11件の開示あり。

50音順

アムリード

SFPダイニング

コバレント
マテリアル

コメダ

三洋電機
ロジスティクス

すかいらーく

成城石井

1stホールディングス

プリマジェスト

マクロミル

ワールド

- ベインキャピタル出身のメンバーが2017年に設立したファンド運営会社。

会社名

株式会社日本企業成長投資

代表者

山口 聡一
秋里 英寿

所在地

東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング7階

設立

2017年

運営ファンド

日本企業成長投資1号投資事業有限責任組合

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

設立の目的

企業の持続的成長に必要な戦略、戦略実行ノウハウと経営資源サポートを含む包括的な解決策を提供します

目指すところ

- 日本の優れた企業および事業の一層の飛躍と永続のため、「成長」を主眼とした「企業に寄り添うコンサルティング型」の投資と投資後の事業サポートを行います
- 持続的成長に有益な戦略、戦略実行のノウハウと経営資源のサポートを含む包括的な解決策を、売上拡大を通じた成長を主眼におき提供します
- 対話を通じて企業の個別事情を十分に理解した上で、柔軟に資金提供方法、サポート内容を検討、構築します
- 国内企業の成長を実現する事により、日本の経済活性化と産業の育成に貢献します

■ HPによると、これまでに5件の投資実績あり。

ネクサスケア

投資時期

2018年1月

事業内容

有料老人ホーム・シニア住宅の企画・建設・運営、訪問介護事業

サング

投資時期

2019年9月

事業内容

飲食店の経営

クラシアン

投資時期

2019年12月

事業内容

水回りの緊急メンテナンス、給排水設備工事、住宅設備機の販売、施工、住まいのリフォーム

湯快リゾート

投資時期

2019年5月

事業内容

温泉旅館・リゾートホテル展開

金子眼鏡

投資時期

2019年10月

事業内容

眼鏡の製造小売業

- 中規模・小規模の企業を投資対象とするファンドの運営会社。

会社名

日本協創投資株式会社

代表者

吉田 大助

所在地

東京都港区虎ノ門四丁目3番1号
城山トラストタワー31階

設立

2015年8月

運営ファンド

日本協創1号投資事業有限責任組合

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

基本理念

日本企業の抱える構造的な課題に企業の皆様と一体となり問題解決にあたるパートナーとして、協力して課題解決と成長実現を支援し、より良い日本の未来を創造していくことを目指します。

投資スタイル/日本協創投資の特徴

1. 中規模・小規模企業への投資についての豊富な経験
2. 本格的なハンズオン支援の実績
3. 企業の成長や課題に即した多様なソリューションを提供

投資対象

1. 1件あたりの投資金額は、5～10億円を中心ゾーンとします（上下に変動余地あり）→ 基本的に、償却前営業利益（EBITDA）が1億円程度以上の企業を投資の対象として設定しております。
2. 非公開企業の株式の議決権の過半を取得すること（バイアウト型投資）を基本とします。
3. 企業価値向上のために本格的な支援を行います。
4. 基本的に対象業種・地域は制限しません（但し、金融会社・不動産会社は除く）。
5. 早期経営改善型・事業再生型の事案にも正面から取り組みます。

■ 投資実績は、以下の通り。

2017年

ヘッドライト

投資時期：2017年6月

櫻製油所

投資時期：2017年7月

金城重機

投資時期：2017年12月

2018年

コンプリート・サークル

投資時期：2018年8月

2019年

CANVAS

投資時期：2019年5月

*投資先のコンプリート・サークルが株式取得

フラット電子

投資時期：2019年6月

コメール/アंक

投資時期：2019年6月

キューズダイニング/キューズマネージメント

投資時期：2019年6月

2020年

■ ACAのスモール・バイアウトのメンバーが独立して設立したファンド運営会社。ACAシナジー3号ファンドも引き続き運営管理。

会社名

日本グロース・キャピタル株式会社

代表者

西野 貴司

所在地

東京都中央区八重洲二丁目4番13号
住友不動産八重洲二丁目ビル2階

設立

2018年6月

運営ファンド

ACAシナジー3号投資事業有限責任組合（90億円）
GCJグロース4号投資事業有限責任組合（140億円）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

使命（ミッション）

「成長のための資本」で中小企業の継承と発展を支える。

行動指針（コアバリュー）

- 資本提携先と出資者に一貫した価値を提供する。
- 今までにない切り口で発想し結果を残す。
- 多様な価値観を認め、周りを巻き込み成果を出す。
- 困難な課題を解決するために全力を尽くす。

支援の特徴

経営陣と十分に話しあった上でご支援させて頂く対象分野を決定いたします。

- 企業サイズに応じた管理体制の構築
- 後継者問題の解決支援
- 営業力の強化や人材採用の支援
- M&Aを活用した事業拡大
- 海外展開の各種サポート

■ 投資実績は、以下の通り。

相生設計

事業内容
プラントの設計・施工・メンテナンス

Polite

事業内容
化粧品・トイレタリーの卸・企画

日新化成

事業内容
樹脂成形加工・光通信部品の製造

アイワショウ

事業内容
建築企画・設計・施工管理・リフォーム・不動産

愛知スチール

事業内容
鉄筋の加工・設置工事

ファイヤーサイド

事業内容
薪火（まきび）を通した空間活用の提案販売

湖都コーポレーション

事業内容
デザイン性の高い住宅設計・施工管理

産電

事業内容
オール電化システムの販売・施工

ピーエスアイ

事業内容
情報セキュリティ関連製品の販売・サポート

サンエス工業

事業内容
空調および消音装置の製造・販売

アイ建築工房

事業内容
注文住宅の設計・施工

セレクト

事業内容
アパレルECサイト「PIERROT」の運営

- TPGキャピタル元代表の津坂氏が設立したファンド運営会社。通称NSSK。旗艦ファンドに加え、中部・北陸に特化した地域特化型ファンドも運営。

会社名

株式会社日本産業推進機構

代表者

津坂 純

所在地

東京都港区愛宕二丁目5番1号
愛宕グリーンヒルズMORIタワー17階

設立

2014年12月

運営ファンド

日本産業推進機構1号投資事業有限責任組合
日本産業推進機構2号投資事業有限責任組合
中部・北陸地域活性化投資事業有限責任組合

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

NSSKミッション

私たちの”使命”は誇れる結果を生み出す
No.1の投資運営会社を築きあげ
日本ひいては世界の環境・社会・企業統治に貢献すること

投資コンセプト

主な投資テーマ

- 全国やグローバルに展開する可能性を有する優良な地域産業
- 資本再構築/ターンアラウンド、ノンコア事業の売却、分散された業界でのロールアップ機会
- 事業継承・後継者問題・相続対策に悩みを抱える業界・企業
- 高齢化社会における成長事業領域

投資の回収

- 必ずしも出口戦略を必要としない（継続保有型投資を含む）投資アプローチで経営支援を通じた企業価値向上に取り組み、配当、株式公開、戦略的投資家等への株式譲渡等を中心とした方法による投資回収を行います。

■ これまでに17件の投資実績を有している。

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
ユーエスマート 投資時期：2015年2月	ヴァティー 投資時期：2016年10月	ぶんか社 投資時期：2017年4月	レイフィールド 投資時期：2018年1月	エッジイノベーション 投資時期：2019年5月	DNS 投資時期：2020年8月
伊勢夫婦岩パラダイス 投資時期：2015年9月	カントクグローバル コーポレーション 投資時期：2016年10月	SORA GROUP 投資時期：2017年9月	創和プロジェクト 投資時期：2018年5月	東海典礼 投資時期：2019年6月	
			ホテルキャッスルイン グループ 投資時期：2018年8月	next innovation 投資時期：2019年11月	
			エルソニック 投資時期：2018年9月	Welfareすずらん 投資時期：2019年12月	
			丹羽久 投資時期：2018年10月		
			リアリーイングリッシュ 投資時期：2018年12月		

- 当初、みずほグループのファンド運営会社であったが、現在は独立系。通称JIP（ジップ）。カーブアウト案件を中心とした大型の投資実績あり。

会社名

日本産業パートナーズ株式会社

代表者

馬上 英実

所在地

東京都千代田区丸の内二丁目1番1号
明治安田生命ビル15階

設立

2002年11月

運営ファンド

日本産業第一～五号投資事業有限責任組合

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

ビジョン

日本産業の潜在力に着目します

- 在来の事業基盤を活かしつつ事業の活性化と成長を支援します
- 日本型事業投資基金を目指します
- 事業再編・事業構造転換のための投資を行います
- 新たな事業金融と投資の機会を追求します
- 事業戦略を重視し、長期的に事業経営を多面的に支援します

コンセプト

本邦事業会社の事業再編に際し、事業戦略・金融・テクノロジーなどの経営インフラを提供し、事業価値の拡大を通じて、日本産業の活性化に寄与する

- プロフェッショナルなスタッフによる運営
- 事業会社との連携
- 企業価値の向上に有効なサポート体制

事業活性化に寄与する日本型投資基金を目指します。

1. 潜在成長力のある事業に投資
2. 役職員にとって働きがいのある職場をつくり、事業を活性化
3. 資金、財務・事業戦略、戦略遂行のための基盤（人材、経営管理、ITなど）の提供、構築支援により対象事業の自律的成長を促進
4. 日本産業の実情に即した効果的投資の実践（経営関与方法・投資形態・出資比率について柔軟に対応）

投資案件類型

- 戦略的カーブアウト
- 事業統合型
- 共同投資型

■ カーブアウトを中心に、多くの投資実績を有する。

～2010年

2011年～

カーブアウト

SIIマイクロパーツ

投資時期：2003年11月

レーザーフロント テクノロジーズ

投資時期：2004年3月

ユタカ電機製作所

投資時期：2006年1月

エルナー

投資時期：2006年4月

トヨタケーラム

投資時期：2006年11月

オプトレックス

投資時期：2008年2月

アルファナテクノロジー

投資時期：2008年3月

ヤマハリビングテック

投資時期：2010年3月

協和発酵ケミカル

投資時期：2011年3月

アイ・ティー・エックス

投資時期：2012年9月

NECビッグローブ

投資時期：2014年3月

VAIO

投資時期：2014年7月

九州三井

アルミニウム工業

投資時期：2015年9月

EMデバイス

投資時期：2017年4月

アラクサラ

ネットワークス

投資時期：2018年3月

日立国際電気

投資時期：2018年6月

MBO

キューサイ

投資時期：2006年12月

サンテレホン

投資時期：2007年3月

ジェイ・エー・エー

投資時期：2010年6月

その他

国内信販

投資時期：2004年5月

すかいらく

投資時期：2011年11月

ナルミヤ・インターナショナル

投資時期：2016年7月

- マネックスグループ・JT・博報堂を主要株主として設立。通称J-GIA（ジェイ・ガイア）。JT・博報堂とのアライアンスに基づく投資先のサポートに強みを持つ。

会社名

日本成長投資アライアンス株式会社

代表者

立野 公一

所在地

東京都港区虎ノ門一丁目3番1号
東京虎ノ門グローバルスクエア12階

設立

2016年6月17日

運営ファンド

J-GIA1号投資事業有限責任組合（173億円）
J-GIA2号シリーズファンド（380億円）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

OUR BELIEFS/私たちの想い

- 日本の成長に投資する
- 「投資家」であること。

OUR INVESTMENT PHILOSOPHY/私たちの投資哲学

SMALL but STRONG

- 日本に300万以上あり、雇用の70%を占められている中堅・中小企業には大きな成長可能性が秘められています。多様性に溢れ、変化が速いこの社会において、巨大すぎる企業より、中堅・中小企業にこそチャンスがあります。私たちは、小さくも強く、意思のある企業を応援します。

JAPAN POTENTIAL

- 日本の企業には、卓越した技術、美意識、サービス精神、職人気質などの強みがあります。地域から日本へ。日本から世界へ。眠った可能性を探索し、発掘し、広げていく。J-GIAは、世界に通ずる日本企業の躍進を支援していきます。

TEAM for GROWTH

- 私たちは、資金の提供はもちろんのこと、私たちと、私たちがアライアンスを組む企業が持つ知識、技術、ネットワークと現場に入り込む実行力、実現力を武器に、投資先企業様とひとつのチームとなって、よりよい組織と事業の成長を実現することに挑戦します。

■ これまでに8件の投資実績あり。

2017年

ポテトかいつか

事業内容：
さつまいも専門の食品会社

2018年

キノファーマ

事業内容：
低分子薬開発企業

2019年

プロフレックス

事業内容：
油圧ホース・金具の製造販売

セフィーヌ

事業内容：
化粧品企画販売

ホームネット

事業内容：
中古マンションの買取際販売

シロカ

事業内容：
白物家電の企画販売会社

2020年

エイジア

事業内容：
マーケティング支援SaaS企業

WBFリゾート沖縄

事業内容：
ホテル運営会社

- 「サラリーマンは300万円で小さな会社を買いなさい」（講談社+α新書）の著者である三戸氏が代表を務めるファンド運営会社。

会社名	株式会社日本創生投資	経営理念 ・投資方針	投資戦略
代表者	三戸政和		方針
所在地	東京都千代田区丸の内一丁目6番2号 新丸の内センタービル21階		分野
設立	2016年4月22日		判断
運営ファンド	投資事業有限責任組合日本創生投資1号（30億円）		対象
参考文献	サラリーマンは300万円で小さな会社を買いなさい サラリーマンがオーナー社長になるための企業買収完全ガイド		期間
		業種	

投資戦略

方針

- 日本の社会的価値を創造する事業への投資

分野

- 後継者問題を抱えるの事業承継
- 若手事業家などの事業売却
- 経営管理の失敗による事業再生

判断

- 海外に展開できる事業
- ITと組み合わせると爆発力が見込める事業
- 人々がワクワクする事業

対象

- 企業価値1億円～30億円程度 ※LBOなどの手法も用い、基本的には議決権比率の過半数以上の投資

期間

- 3年～5年程度を目処に、大企業への売却や株式上場を目指す

業種

- 製造／情報通信／卸小売／飲食／宿泊／医療福祉／サービスなど

■ 投資実績は、以下の通り。

時期未詳	2017年	2018年	2019年
FUN to FUN 共立工業	パパママハウス 投資時期：2017年5月	北海道きのこ生産総合研究所 投資時期：2018年6月 エヌ・ケイ・クリエイト 投資時期：2018年8月	フローレス化粧品 投資時期：2019年2月

- 日本M&Aセンターと日本政策投資銀行が設立したファンド運営会社。通称J-FUN（ジェイ・ファン）。

会社名

株式会社日本投資ファンド

代表者

三宅 卓

所在地

東京都千代田区丸の内一丁目8番2号

設立

2018年1月23日

運営ファンド

日本投資ファンド第1号投資事業有限責任組合

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

ビジョン

「投資に、愛という新技術」
というのは、言い過ぎかもしれませんが。けれど私たち日本M&Aセンターはこれまでも、お客さまの話をとことんお聞きし、時間をかけて企業間の最適な出会いを实らせてきました。

そこで培った経験や知識、ネットワーク力を活かしつつ、幅広い投融資ノウハウを持つ日本政策投資銀行と手を組むことで、この度、ファンドの常識を変えるファンドを設立。目指すのは、投資を受ける企業の意志を活かすことで描ける、これまでにない成長ストーリーと投資リターンです。

全国の地方銀行とのコラボレーションで、真の地域密着型ファンドチームを実現。日本すべての企業の成長を支えることで、まだ誰も見たことのない投資の未来をお見せします。

「企業の成長を、実らせる投資がある」

ファンドの特長

1. 埋もれた成長性のある企業を掘り起こす
2. ステークホルダー・インタレストに配慮した投資を行う
3. 経営体制を強化し、成長戦略を策定する
4. 成長戦略を実行し、追加投資にもチャレンジする
5. 最高のエグジットを実現する

- これまでに4件の投資実績あり。

たくみやホールディングス

投資時期

2018年7月

事業内容

菓子製造・販売

アートジャパン

投資時期

2019年1月

事業内容

建設機械の路面保護用ゴムパッドの製造販売

雨宮ホールディングス

投資時期

2020年1月

事業内容

白蟻・害虫の予防・駆除、各種リフォーム

フジバンビグループ

投資時期

2018年9月

事業内容

「黒糖ドーナツ棒」等の各種菓子製造販売

シモノ

投資時期

2019年9月

事業内容

各種装置アルミ部品製造

- 日本M&Aセンター・日本政策投資銀行を主要株主とするファンド運営会社。比較的小型のミドルマーケット企業を投資対象とする。

会社名

日本プライベートエクイティ株式会社

代表者

法田 真一

所在地

東京都千代田区神田三崎町二丁目15番6号
K-STAGE 5階

設立

2000年10月24日

運営ファンド

事業承継・事業再編ファンド

- ジェイジェイ・プライベートエクイティ壱号投資事業有限責任組合

業種特化（製造業）ファンド

- TAKUMI（匠）1～2号投資事業有限責任組合 など

参考文献

事業再編とバイアウト
事業承継とバイアウト
続・事業承継とバイアウト - 製造業編 -

経営理念 ・投資方針

投資理念

日本プライベートエクイティ株式会社（JPE）は、日本の“中小企業分野（Small-cap）”におけるバイアウト（Buy-Out）ファンドの先駆者として、中立的で信用力のある株主と多くの投資家の皆様からの信頼を背景に、優良な中堅・中小企業への投資に特化した“事業承継・事業再編ファンド”を運営しています。

“事業承継”に悩むオーナー企業や“事業再編”に伴い分離独立する子会社や事業部門に対して、ファンドを通じた解決策を提供し、事業存続と企業価値向上の実現を目指します。

- 資本と経営の“調和”
- “継承ファンド”
- “志を継いで 夢をカタチに。” “夢を継いで 新たなる時代へ。”
- “変えるべきでないものは変えず。変えるべきものは変える。”

- 現在投資実行中の案件は、こちらの12件。

投資実行中

事業承継

ASTRA
投資時期：未詳

クニケミカル
投資時期：2016年1月

北海道鑑定 / デーエム
投資時期：2017年9月

ギフトプラザ
投資時期：2018年9月

アソシエ・インターナショナル
投資時期：2019年4月

コミュニティセンター
投資時期：2020年3月

じゃんばら
投資時期：2016年3月

ダイアトップ
投資時期：2017年10月

米沢精密
投資時期：2019年6月

ニック
投資時期：2020年10月

事業再編

コモンズ・コミュニケーション
投資時期：2009年1月

日本サイン
投資時期：2020年3月

- 日本のファンド黎明期の2002年に設立された独立系のファンド運営会社。これまでに3つのファンドを組成・運営。

会社名

日本みらいキャピタル株式会社

代表者

安嶋 明

所在地

東京都千代田区内幸町一丁目3番3号
内幸町ダイビル2階

設立

2002年2月

運営ファンド

1号ファンド
2号ファンド
3号ファンド

参考文献

事業再生とバイアウト
プロフェッショナル経営者とバイアウト

経営理念 ・投資方針

理念

企業価値の創造

- 日本の文化、風土を踏まえた独立系投資ファンドとして、投資先の企業価値創造に専念し、その成果を関係当事者間で分かち合います。

産業構造の变革

- 常にイノベーティブ（革新的）なソリューション（問題解決）を追求し、日本およびアジア地域の経済活性化と産業構造の变革に貢献します。

バイアウトマーケット(企業売買市場)の育成・拡大

- 成功事例を積み上げることによって、投資家の裾野を拡げ、リスクマネーの自律的還流を促し、国内バイアウトマーケットの育成・発展に寄与します。

投資方針

日本みらいキャピタルのネットワークや知見を能動的に活用することによって企業価値を創造するストーリー（戦略）を共有しながら、関係者と協力して投資先企業の戦略の実現、变革に取り組みます。

■ これまでに21件の投資実績あり。

Exit済

投資実行中

テザック

投資時期：2003年12月
Exit時期：2006年6月

レスキューネットワーク

投資時期：2007年1月
Exit時期：2011年3月

アルク

投資時期：2012年6月
Exit時期：2018年9月

日本アドバンスロール

投資時期：2018年3月

日本アセットアドバンス

投資時期：2004年2月
Exit時期：2006年4月

フルチュウ

投資時期：2007年3月
Exit時期：2013年1月

高砂製作所

投資時期：2014年3月
Exit時期：2017年6月

ホテルクス

投資時期：2019年4月

第一化成

投資時期：2004年3月
Exit時期：2007年10月

南部化成

投資時期：2009年4月
Exit時期：2015年10月

RITAエレクトロニクス

投資時期：2014年4月
Exit時期：2016年12月

カスタマーズディライト

投資時期：2019年8月

グルメびあネットワーク

投資時期：2005年6月
Exit時期：2012年9月

成幸利根

投資時期：2009年6月
Exit時期：2012年9月

なごやかケアリンク

投資時期：2016年6月
Exit時期：2019年4月

浅野屋

投資時期：2020年5月

第一精密産業

投資時期：2005年9月
Exit時期：2010年8月

大阪カーライフグループ

投資時期：2009年12月
Exit時期：2014年5月

APRESIA Systems /

エイチ・シー・
ネットワークス
投資時期：2016年12月
Exit時期：2020年10月

サンポット

投資時期：2006年2月
Exit時期：2007年3月

アクアインテック

投資時期：2010年11月
Exit時期：2013年7月

- 旧フェニックス・キャピタルのメンバーが独立して設立。

会社名

ニューホライズンキャピタル株式会社

代表者

安東 泰志、藤堂 一俊

所在地

東京都港区西新橋二丁目8番6号
住友不動産日比谷ビル9階

設立

2006年10月2日

運営ファンド

ニューホライズン1号投資事業有限責任組合
ニューホライズン2号投資事業有限責任組合
ニューホライズン3号投資事業有限責任組合

参考文献

事業再編とバイアウト
V字回復を実現するハゲタカファンドの事業再生

経営理念 ・投資方針

企業理念

「価値あるものを、より価値あるものに」
新たな価値創造に向かう日本企業の活性化を支援するとともに、日本の産業再編の触媒としての機能を果たすための積極的な投資活動を通して、社会に貢献してまいります。

- 埋もれた価値を見出すこと。その原石に磨きをかけること。
- 付加価値をつけること。価値の化学反応を起こすこと。
- 価値の成果を多様なステークホルダーと共有すること。

運営方針

「グローバル・スタンダードでの運営とローカルマインドでの行動」
実績のあるパートナーが議論を尽くし投資家と投資先へ対応します。

投資対象

- 事業承継・カーブアウト：安定した収益性があり、事業承継や事業再編のステージにある企業
- グロース：成長ステージにある企業
- 再生：業績が低迷しているものの、変革により再生が可能な企業

投資アプローチ

- 投資後の経営方針について投資先企業の経営陣と十分な協議、合意の上で投資を実行
- 企業価値の向上を通じて各ステークホルダーの利益の最大化を図り、価値の成果を共有
- 持ち株シェア等投資の内容についても柔軟に対応

- 近年投資件数が増加しており、2020年は7件の投資を行っている。

～2015年

ハウステック

投資時期：2007年12月

万葉軒

投資時期：2013年9月

まぐまぐ

投資時期：2014年3月

丸茂工業

投資時期：2014年6月

iaeグローバル・グループ

投資時期：2014年11月

たち吉

投資時期：2015年2月

武田産業

投資時期：2015年6月

Shade3D

投資時期：2015年9月

友工商事

投資時期：2015年12月

2016年～

アキュートロジック

投資時期：2016年10月

Generosity

投資時期：2016年12月

シバウラ防災製作所

投資時期：2017年4月

川崎ホールディングス

投資時期：2017年4月

昭和コーポレーション

投資時期：2018年2月

リーチローカル・ジャパン

投資時期：2018年7月

かがやくコスメ

投資時期：2019年7月

ウッドテック

投資時期：2020年2月

NITTO

投資時期：2020年6月

日本システムケア

投資時期：2020年9月

岩田産業

投資時期：2020年9月

エスエーティ

投資時期：2020年11月

リードプラス

投資時期：2020年11月

ファイブテイルズ

投資時期：2020年11月

- 2005年設立の独立系のファンド運営会社。代表の立石氏は産業再生機構の出身。

会社名

ネクスト・キャピタル・パートナーズ株式会社

代表者

立石 寿雄、本坊 吉隆

所在地

東京都千代田区麴町三丁目5番2号
BUREX麴町

設立

2005年7月1日

運営ファンド

未詳

参考文献

事業再生とバイアウト
続・事業再生とバイアウト

経営理念 ・投資方針

企業理念

ネクスト・キャピタル・パートナーズは
付加価値と活力の正の連鎖を企業の皆様と共に創造します。

事業コンセプトと特色

- 豊富な経験・実績とネットワーク
- 経営陣と二人三脚のハンズオンアプローチ
- 投資対象

本邦の経済活性化の原動力は中小企業の創意ある発展にありますが、優れた価値のあるビジネスや技術を持ちながら何らかの問題により、業績が停滞しているケースが多く見られます。それらの企業に対して、ニューマネーと経営支援を通じて、経営革新及び新たな事業の成長・発展に繋げていくことが、弊社の使命と考えます。従いまして、投資対象としては、事業再生型投資を中心に、事業承継、新事業展開、事業の再編等により新たな成長・発展を目指す中堅・中小企業に投資し、ハンズオン支援を行うことにより成長促進を図り、企業価値の向上を目指します。

- これまでに12件の投資実績があり、近年は概ね年1件のペースで投資を実施している。

Exit済

キャスコ

投資時期：2006年9月

Exit時期：2010年11月

Exit先：マミヤ・オーピー

フジ医療器

投資時期：2007年11月

Exit時期：2014年7月

Exit先：ジャパンウェスト

(アサヒホールディングスグループ)

CROSS FM

投資時期：2008年7月

Exit時期：2016年4月

Exit先：ディーエイチシー

足利ホールディングス

投資時期：2008年6月

Exit時期：2016年6月

Exit先：IPO

アコール

投資時期：2015年1月

Exit時期：2017年12月

Exit先：未詳

投資実行中

ホームメイドクッキング

東京都所在。

料理教室の運営。

投資時期：2012年9月

TMGインターナショナル

愛知県名古屋市所在。

インターネット食肉小売・卸売業

投資時期：2016年11月

越後ふとん

新潟県胎内市所在。布団等製造販売業

投資時期：2017年1月

マルイ工業

新潟県胎内市所在。自動車部品製造業

投資時期：2017年7月

ラスター

静岡県磐田市所在。人材派遣請負業等

投資時期：2018年6月

ヨコモ

茨城県つくば市所在。ラジコンカー製造販売

投資時期：2019年9月

安井家具

愛知県名古屋市所在。家具・インテリア小売

投資時期：2019年10月

- 野村証券グループのファンド運営会社。1号ファンドで1,000億円の大型ファンドを組成。

会社名

野村キャピタル・パートナーズ株式会社

代表者

前川 雅彦

所在地

東京都千代田区大手町二丁目2番2号
アーバンネット大手町ビル14階

設立

2018年1月

運営ファンド

野村キャピタル・パートナーズ
第一号投資事業有限責任組合（1,000億円）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

投資理念・哲学

- **徹底的な企業価値向上支援を通じた企業の成長ポテンシャルの最大化**
企業が本来有する成長ポテンシャルを最大化するために、経営陣による経営戦略の策定および実行を全面的に支援します。
- **日本経済および資本市場やプライベート・エクイティ市場の活性化と発展への貢献**
日本の経済、資本市場そしてプライベート・エクイティ市場の成長と活性化に貢献すると共に、投資に関連するあらゆるステークホルダーに対し、投資を通じた経済価値を享受いただけるよう取り組みます。
- **志高く有能なプロ人材が集結し協働する強力なチーム運営**
野村グループ内外のプロ人材が集結し、ワンチームとして協働することを通じて、投資先の経営陣や従業員にとって真に役に立ち信頼されるチーム運営を目指します。

■ 主な実績として、次の4件の投資実績が公開されている。

オリオンビール

投資時期

2019年3月

投資タイプ

MBO

投資テーマ

経営陣・従業員の手で、オリオンビールの持続的な成長と沖縄地域経済への更なる貢献を実現する「第二の創業」としてのマネジメント・バイアウト。既存株主からの株式取得による資本構成の再構築と、外部人材登用など経営体制の補強、ガバナンス強化および中核事業である酒類・飲料事業の再強化をはじめとする成長戦略の策定・実行を通じた事業面での支援を図る。

プラスアルファ・コンサルティング

投資時期

2019年3月

投資タイプ

株式取得

投資テーマ

次なる成長ステージへ挑戦するためのパートナーとして投資を実行。タレントパレット事業を中心とする成長戦略の加速と将来のIPOを着実に実現するために、営業体制の整備・強化、野村グループのネットワークを活用した顧客開拓、IPO準備を含む社内管理体制の整備・強化に関する支援を図る。

クックデリ

投資時期

2020年1月

投資タイプ

株式取得

投資テーマ

クックデリの次なる成長ステージへ挑戦するためのパートナーとして投資を実行。クックデリの持続的な成長を実現するために、野村グループのネットワークを活用した顧客開拓を含む成長戦略の策定・実行を通じた事業面での支援、会社の組織・ガバナンス体制の整備、強化に関する管理面での支援を図る。

日水コン

投資時期

2020年6月

投資タイプ

株主構成の再構築

投資テーマ

株主構成の再構築及び経営基盤を強化することを目的として投資を実行。日水コンの企業価値向上を目指し、経営管理体制の強化、成長戦略の実行支援等を図る。

- 野村メザニン・パートナーズ（N-MEZ）は、野村証券グループのメザニンファンド運営会社。

会社名

野村メザニン・パートナーズ株式会社

代表者

松田 耕太郎

所在地

東京都千代田区大手町2-1-1（大手町野村ビル23階）

設立

2019年9月

運営ファンド

N-MEZ投資事業有限責任組合1号（2019年～）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

会社概要

当社（野村メザニン・パートナーズ）は、メザニン・ファンドの管理・運営を行っております。

当社独自の専門性／ネットワークに加えて、野村グループのプラットフォームを活用することで、幅広い案件ソーシングを行います。

日本の市場に即したメザニン・ファイナンスに取り組み、機関投資家のお客様の資金運用ニーズにこたえることを目指します。

- 公開情報によると、1号ファンドで既に2件の投資を実行しているとのこと。

総合メディカル

投資時期
2020年

投資内容
バイアウトメザニン

未詳

投資時期
未詳

投資内容
未詳

- 百五銀行の100%子会社。事業承継に悩みを抱える中小企業への投資を目的に設立。

会社名

百五みらい投資株式会社

代表者

林 篤紀

所在地

三重県津市栄町三丁目123番地1
栄町ビル2階

設立

2019年12月17日

運営ファンド

AIDMA1号投資事業有限責任組合（30億円）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

投資対象

1. 主に事業承継に課題を抱える中小企業を投資の対象とします。
2. 東海地区を主としつつも、日本国内に本店、主たる事業所又は主たる営業所を置く中小企業を広く対象とします。
3. すべての業種を投資対象としますが、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の規制対象業種その他公序良俗に反する業種（反社会的勢力である企業を含むがこれに限らない。）への投資は行いません。
4. 安定したキャッシュフローを期待できる企業

事業承継

経営陣・従業員とともに考え、百五銀行グループが持つネットワークを活用することで、最適な経営権の承継の実現と事業の再成長を支援します。オーナー様が育ててきた大切な会社と社員を次世代にしっかりと引き継ぎます。

- 親族承継（MBO）
- 役員・従業員承継（MEBO）
- 第三者承継（M&A）

- 2019年12月の設立以降、既に3件の投資実績あり。

ツリークライミングワールド

投資時期

2020年3月

事業内容

ツリークライミングや高所作業で使用されるギア専門ショップを運営

HM Company / Relato

投資時期

2020年3月

事業内容

業務委託ヘアサロン

バイザー

投資時期

2020年10月

事業内容

情報配信システム

- 東京海上メザニン出身のメンバーにより2018年に設立されたメザニンファンド運営会社。

会社名

ファイブスター・メザニン株式会社

代表者

斉藤 陽一

所在地

東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX8階

設立

2018年4月

運営ファンド

ファイブスター・メザニン1号投資事業有限責任組合
(2018年～ 432億円)

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

経営理念・ビジョン

- ニッチフォーカスの運用機関として、企業に対して既存の金融資本市場と異なった創造的かつ柔軟性の高いファイナンスを提供することにより、我が国の経済の資金循環の円滑化や企業のイノベーションをサポートします。
- 運用資金の委託者の信頼をあらゆる事業活動の原点に置きます。その上で、優れたリスク/リターンを継続的に提供することにより、委託者からの受託資産を増大し、我が国経済の資金循環の更なる円滑化に貢献します。
- 企業や社会のイノベーション推進に貢献できるように、自らにおいても現状に決して満足しない、常に進歩する運用機関を目指します。

投資哲学

- 投資先のCF創出能力の高さ、安定性への徹底的な拘り
- 案件特性・リスクに応じた条件設定
- 優秀な経営陣・スポンサーによるガバナンス
- エグジットの確実性、多様性

- 投資実績については、HPからは確認できず、未詳。

投資実績の情報未詳

- 米国を本拠とするファンド運営会社。日本でも従来より不動産投資を行っていたが、2019年以降プライベートエクイティ投資を本格化。

会社名

ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社

代表者

未詳

所在地

東京都千代田区丸の内二丁目4番1号
丸の内ビルディング10階

設立

1985年（ブラックストーン・グループの設立時期）

運営ファンド

未詳

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

WHAT WE DO / Overview

We invest across alternative asset classes on behalf of pension funds and other leading institutions.

- Providing Financial Security
- Investing Globally
- Making a Positive Impact

WHAT WE DO / Private Equity

We invest across industries in both established and growth-oriented businesses across the globe.

- Disciplined Due Diligence
- Transformative Impact
- Staying Power

- 2019年のあゆみ製薬が日本での第1号案件。

あゆみ製薬

投資時期

2019年4月

事業内容

抗リウマチ薬、解熱鎮痛剤を中心とした医薬品の製造・販売等

所在地

東京都中央区銀座四丁目12番15号 歌舞伎座タワー19階

- 成長型バイアウト投資を志向するファンド運営会社。比較的小型の中堅・中小企業を投資対象とする。

会社名

フロネシス・パートナーズ株式会社

代表者

白石 智哉、小坂橋 貴尚

所在地

東京都千代田区麹町四丁目5番20号
KSビル8階

設立

2013年3月5日

運営ファンド

未詳

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

投資戦略と投資基準

- 当社の投資戦略の根幹は、投資先企業の売上と利益の持続的な成長を実現する「成長型バイアウト投資」です。
- 当社は、持続的な売上と利益の成長を実現する企業は一様に優れた価値を生み出す力（Value Proposition）が強い企業であることに着目し、本ファンドの投資基準を「Value Propositionの強い企業になりうる事業の特徴や業態をもっているか」とします。特にSmall-End企業は、事業戦略の再構築を行い、事業運営を改善することにより潜在力を引き出す余地が大きいと考えております。
- 本邦の中小企業（企業価値20～60億円）「Small-End of Small-cap」に特化

- 2016年以降、4件の投資実績あり。

ティエヌ

投資時期

2016年11月

事業内容

ネイルサロンの運営

FLAVA

投資時期

2018年3月

事業内容

メンズのカジュアルアパレル企画・
販売（EC）事業

ビューマインド

投資時期

2019年12月

事業内容

まつ毛エクステンションを中心とし
たパーツ美容事業

クラステクノロジー

投資時期

2020年3月

事業内容

コンピュータソフトウェアの開発
とシステムインテグレーション

- 従来はみずほグループのファンド運営会社であったが、現在は独立系。中堅中小企業を対象とするバイアウトファンドを運営。

会社名

ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社

代表者

金田 欧奈

所在地

東京都中央区八重洲二丁目4番1号
住友不動産八重洲ビル5階

設立

2002年11月

運営ファンド

イマジンファンド
みのり1号ファンド
みのり2号ファンド
みのり3号ファンド

参考文献

続・事業再編とバイアウト

経営理念 ・投資方針

投資方針

投資対象

- 社会的な意義の高い事業を営む国内企業
- 商品、サービス、ビジネスモデルに特徴、競争優位性を有する企業

投資スタイル

- 原則、議決権の過半数を取得
- 投資先の経営に直接・間接的に関与するハンズオン・スタイルで企業の成長を支援

主なテーマ

- 事業承継支援、MBO（経営陣による独立）支援、カーブアウト（親会社グループからの独立）支援、分散した株主の集約、第三者割当増資による成長資金の供与

■ 2000年代は事業再生が多かったが、2010年代以降は、事業承継やカーブアウトを中心に投資実績を重ねている。

Exit済

投資中

事業承継

アイコムシステック

投資時期：2009年2月
Exit時期：2011年11月
Exit先：協和エクシオ

ハート

投資時期：2014年4月
Exit時期：2019年10月
Exit先：バンダイ

大貴

投資時期：2014年12月
Exit時期：2018年7月
Exit先：丸の内キャピタル

太新

投資時期：2016年8月
Exit時期：2017年3月
Exit先：創業家関連会社

東海ステップ

投資時期：2015年7月
Exit時期：2020年2月
Exit先：コンドーテック

スタック

投資時期：2017年12月

恵那金属製作所

投資時期：2018年7月

ミトヨ

投資時期：2019年3月

ケイホワイトレード

投資時期：2019年5月

テイ・アイ・シイ

投資時期：2019年8月

カーブアウト

不二家フードサービス

投資時期：2007年5月
Exit時期：2012年10月
Exit先：不二家

パナレーサー

投資時期：2015年4月
Exit時期：2020年3月
Exit先：りそなキャピタル・三田アドバイザリー

カルネヴァーレ

投資時期：2018年10月

マークアイ

投資時期：2019年3月

WorkVison

投資時期：2018年7月

ヒノマル

投資時期：2020年8月

その他

ナスステンレス（事業再生）

投資時期：2003年3月
Exit時期：2005年5月
Exit先：東建コーポレーション

千房（事業再生）

投資時期：2005年3月
Exit時期：2007年11月
Exit先：創業家

アビバ（事業再生）

投資時期：2005年5月
Exit時期：2008年8月
Exit先：ベネッセ

シニアライフクリエイト（MBO）

投資時期：2006年12月
Exit時期：2012年4月
Exit先：ファミリーマート

ホリー（MBO）

投資時期：2007年3月
Exit時期：2010年9月
Exit先：SRGタカミヤ

豊創フーズ（成長支援）

投資時期：2015年7月

- 香港を本拠地とするアジアの大手ファンド運営会社。

会社名

ベアリング・プライベート・エクイティ・アジア株式会社

代表者

Jean Eric Salata

所在地

東京都港区六本木六丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー37階

設立

1997年

運営ファンド

Baring Private Equity Asia Fund VII (65億ドル) など

参考文献

事業再編とバイアウト
続・事業承継とバイアウト - 小売・サービス業編 -

経営理念 ・投資方針

Private Equity / Our Strategy

We invest in Asian companies that are experiencing strong growth through either a controlling or significant minority stake.

We typically seek to invest in companies with enterprise values in the range of \$300 million to \$1.5 billion. We proactively approach a range of market leading companies that are experiencing strong growth and consequently have a need for equity financing.

- A Proven Track Record
- Diversification
- Capital Preservation
- Post-Investment Value Creation

■ 当社HPによると、投資実績は以下の通り。

プリモ・ジャパン

投資時期
2011年1月

投資タイプ
バイアウト

ステータス
Exit済

武州製薬

投資時期
2014年12月

投資タイプ
バイアウト

ステータス
投資実行中

TSグループ

投資時期
2018年12月

投資タイプ
バイアウト

ステータス
投資実行中

ネットジャパン

投資時期
2012年4月

投資タイプ
バイアウト

ステータス
Exit済

ジョイフル本田

投資時期
2016年3月

投資タイプ
マイノリティ

ステータス
Exit済

パイオニア

投資時期
2019年3月

投資タイプ
バイアウト

ステータス
投資実行中

- 米国を本拠地とする大手のPEファンド運営会社。日本でも多くの投資実績あり。

会社名

ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・
ジャパン・LLC

代表者

杉本 勇次

所在地

東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
パレスビル5階

設立

2005年（日本拠点）

運営ファンド

未詳

参考文献

事業再編とバイアウト

経営理念 ・投資方針

投資哲学

本質的な事業改革を通じて、飛躍的な成長を実現します。

ベインキャピタルは、「戦略立案・実行」と「資本提供」という両面からご支援することで、企業の事業価値向上と企業進化を実現します。我々は投資を実行した企業がベインキャピタルから離れたあとも経営陣・現場の方々へのさまざまな支援・コンサルティングを通じて、競争力を維持できるよう多面的なお手伝いを実行します。

- 事業価値向上・創造

非連続な企業進化に向けて、経営理念、事業領域、戦略・オペレーションの仕組みを経営陣とともに再定義し、投資先企業の潜在的競争力・収益力を最大化します。

- 卓越した投資リターン

ベインキャピタルへの投資家に対して、業界最高水準の投資リターンを実現します。他の株主、対象企業の経営陣、従業員・家族、取引先など全ての関係者が当社の投資活動を通して経済価値を享受することを目指します。

- 優れた人材

優秀なプロフェッショナルを惹きつけて育成することで、支援先の事業精査・価値創造を最大化します。

- 2011年以降で13件の投資を実行。KIOXIA（旧東芝メモリ）のような大型案件も含む。

2011～2015年

すかいらく

投資時期：2011年11月
ステータス：Exit済

ジュピターショップチャンネル

投資時期：2012年7月
ステータス：Exit済

大江戸温泉物語

投資時期：2015年3月
ステータス：投資実行中

雪国まいたけ

投資時期：2015年4月
ステータス：投資実行中

日本風力開発

投資時期：2015年5月
ステータス：投資実行中

2016年～

アサツーディ・ケイ

投資時期：2017年12月
ステータス：投資実行中

KIOXIA

投資時期：2018年6月
ステータス：投資実行中

エンバーポイント

投資時期：2019年10月
ステータス：投資実行中

Works Human Intelligence

投資時期：2019年8月
ステータス：投資実行中

昭和飛行機工業

投資時期：2020年3月
ステータス：投資実行中

Hey

投資時期：2020年8月
ステータス：投資実行中

ニチイ

投資時期：2020年8月
ステータス：投資実行中

麒麟堂ホールディングス

投資時期：2020年11月
ステータス：投資実行中

- イギリスを本拠地とするヨーロッパの大手ファンド運営会社。前身はシュローダー・ベンチャーズ。2001年に現社名に変更。

会社名

ペルミラ・アドバイザーズ株式会社

代表者

アレックス・エメリー

所在地

東京都港区赤坂一丁目11番44号
赤坂インターシティビル3階

設立

2005年（東京オフィス開設）

運営ファンド

Permira Growth Opportunities I（約1,850億円）
Permira VII（約1.3兆円） など

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

ペルミラの投資アプローチ

ペルミラは、人気シューズブランドのドクターマーチン、米物流システム会社のインテリグレーテッド、カスタマーサービスソリューション開発支援会社のジェネシス、水産用医薬品メーカーのファーマックなど、多くの業界トップの企業の皆様との協業を実現しています。ペルミラは、各社のニーズに合わせ、異なるソリューションを提供いたします。例えば、グローバルな事業展開を見据えた大規模支援を提供する場合もあれば、優秀人材の獲得と事業機会の提供によって飛躍的な成長が期待できる場合もあります。企業の皆様と同じく、私たちもまた起業家精神を持つ集団です。だからこそ、起業家精神を共有し、共に取り組んでいくことが重要だと考えています。この理念にもとづき、ペルミラでは、優れた業績と高い成長意欲を合わせ持つ企業を積極的に支援しています。

投資戦略

ペルミラの投資チームは、成長意欲の高い企業を支援する投資会社であるペルミラファンドへの投資助言活動に従事しています。ペルミラは5つの注力セクター毎に分かれて活動を行っており、時流とこれまでの投資経験に沿ったコア投資テーマを設定し、将来的に業界リーダーとなるような潜在力を有する企業にアプローチをしています。平均的な投資期間は5年を超え、グローバルな知見や国内外のネットワークを最大限に活用し、投資先企業の持続的な業務改善と事業戦略の達成を支援しています。

- HPによると、これまでに日本で3件の投資実績を有する。

アリストライフサイエンス

投資時期
2008年

事業内容
農業化学・医薬・動物薬関連事業

あきんどスシロー

投資時期
2012年

事業内容
すしレストランの経営

ジョンマスターオーガニック

投資時期
2016年

事業内容
化粧品販売事業

- 2004年設立の老舗ファンドの1社。当初はみずほグループのファンドであったが、現在は独立系。

会社名

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社

代表者

木村 雄治（日本興業銀行を経て同社の設立に関与）

所在地

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
グラントウキョウノースタワー38階

設立

2004年9月13日

運営ファンド

ポラリス第一号投資事業有限責任組合（296億円）
ポラリス第二号投資事業有限責任組合（319億円）
ポラリス第三号投資事業有限責任組合（391億円）
ポラリス第四号投資事業有限責任組合（376.5億円）
ポラリス第五号投資事業有限責任組合（497.5億円）

参考文献

ポラリス・キャピタリズム
しがらみ経営 価値を生み出す「関係性」のマネジメント
事業再編とバイアウト
プロフェッショナル経営者とバイアウト
続・事業承継とバイアウト 製造業編
続・事業承継とバイアウト 小売・サービス業編
プライベート・エクイティ投資の実践

経営理念 ・投資方針

ポラリス基本理念

プライベートエクイティ業務におけるマーケットリーダーとして、真摯かつ公正な仲介者たる本分をわきまえ、顧客に対して最善かつ付加価値の高いサービスを提供することで、我が国の経済・社会に貢献しつつ、ポラリスで働く個々人の幸福や生きがいを実現していく

投資テーマ・手法

- 日本活性化に資する「創業者精神の回帰」と「ビジネスモデルイノベーションの促進」
- オーナー事業承継、大企業の事業再編、資本再構築に関する日本中堅中小企業が投資対象
- 特に（1）グローバルに通用する技術・特許を有する製造業（医療関連を含む）、（2）日本に強力なブランドや独特の仕組みを確立し、アジア展開のポテンシャルを有する消費財、小売・流通、サービス業を中心に投資対象を選定
- 投資手法としてはレバレッジ（LBO）を極力活用
- 不動産・金融に対する投資、不良債権・破綻債権に対する投資、ベンチャー投資、上場会社の有利発行引受投資は対象外

■ 3号ファンド以降の投資実績は以下のように分類される。近年はカーブアウト（切り出し型）に強みがある。

	3号ファンド	4号ファンド	5号ファンド
カーブアウト	<p>Aimedic MMT 売り手：ノーリツ鋼機 Exit先：バンドー化学</p> <p>ハイビック 売り手：LIXIL Exit先：ヤマエ久野</p> <p>AIメカテック 売り手：日立製作所</p>	<p>エルビー 売り手：アサヒグループ</p> <p>富士通コネクテッドテクノロジーズ/ ジャパン・イーエム・ソリューションズ 売り手：富士通</p> <p>オーネット 売り手：楽天</p>	<p>トキコシステムソリューションズ 売り手：日立グループ</p> <p>パナソニックi-PRO センシングソ リューションズ 売り手：パナソニック</p>
事業承継	<p>クリーンサアフェイス技術 Exit先：三井松島産業</p> <p>江戸ー Exit先：キャピタルソリューション</p> <p>ファクトリージャパングループ</p>	<p>LYKAON Exit先：ユニバーサル建物管理</p> <p>淀川変圧器 Exit先：オリックス・レンテック</p>	
非公開化	<p>ノバレーゼ</p>		<p>総合メディカル</p>
セカンダリー バイアウト	<p>ソシエ・ワールド 売り手：シティグループ Exit先：三越伊勢丹ホールディングス</p>	<p>HITOWAホールディングス 売り手：CVC</p>	

■ 2005年設立のADキャピタルを前身とするファンド運営会社。東証一部上場。

会社名

株式会社マーキュリアインベストメント

代表者

豊島 俊弘

所在地

東京都千代田区内幸町一丁目3番3号

設立

2005年10月

運営ファンド

バイアウト1号ファンド
クロスボーダー・グロース・ファンド1～2号 など

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

経営理念／Cross Border

当社は、あらゆる垣根を超え、日本の強みを基盤として世界に広がる成長分野や成長可能性への投資を中心に、産業界・投資業界の幅広いネットワークを通じ、ユニークな投資機会を見出すことを目的としています。

基本コンセプト

1. 成長機会の存在
2. 障壁の突破
3. 既成要素の新たな組み合わせ
4. 日本のノウハウ

投資方針

- 成長機会の存在
- 障壁の突破

■ 投資実績は、以下の通り。

Exit済

ゴードン・ブラザーズ・ジャパン

在庫評価・換価／動産担保融資（ABL）等の在庫・動産に関するトータル・ソリューションサービス提供

SONOKO

食品／サプリメント／化粧品の製造・販売事業

ミンカブ・ジ・インフォノイド

日本最大級の個人投資家向け金融ソーシャルメディア「みんなの株式」／「みんなの外貨」等の運営

ほけんの窓口グループ

国内最大級の保険乗合代理店「ほけんの窓口」の運営

EASTDAWN CORPORATION

測量・地図分野におけるトータル・ソリューションサービス提供

ライフネット生命

インターネット専業の生命保険販売事業
（IPO時に保有分の一部を売却済）

泉精機製作所

家電製品／電設工具製品の製造・販売

ぺんてる

筆記具を中心とする文具、画材、電子機器等の製造販売

出所：当社HPなど

投資中

Nippon Wealth Limited

富裕層を主たる対象としたプライベート・バンキング事業

ツノダ

不動産賃貸

Stellarworks Holdings Limited

全世界に向けたラグジュアリー家具ブランドの展開
ホスピタリティー業界向けの特注家具の製造

シンクス

木材加工機械／金属加工機械の製造・販売

水谷産業グループ

ダイカスト関連製品及び金型、治具の製造販売

イーテック物流

一般貨物運送事業／取扱運送事業／営業倉庫／流通加工業

- 丸の内キャピタルは、1号ファンドは三菱商事と三菱UFJ証券ホールディングス、2号ファンドは三菱商事と三菱UFJ銀行によって設立されたファンド運営会社。（1号ファンドは丸の内キャピタル株式会社、2号ファンドは株式会社丸の内キャピタルが運営会社）

会社名

株式会社丸の内キャピタル

代表者

朝倉 陽保、立川 擁

所在地

東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
国際ビル6階

設立

2008年4月1日（1号ファンドの運営会社の設立時期）

運営ファンド

丸の内キャピタル1号ファンド（約500億円）
丸の内キャピタル2号ファンド（941.6億円）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

丸の内キャピタルの特長

我々（丸の内キャピタル）は、事業承継とカーブアウトにフォーカスしたバイアウトファンドです。

1. ソーシング
三菱UFJ銀行及び三菱商事の顧客基盤を活用した案件発掘
2. 案件組成
ステークホルダー間の利害調整に強みを発揮
3. バリュアアップ
三菱商事の有するグローバルな事業ネットワークの活用
4. 投資対象
日本国内における安定・成長企業を主なターゲットとし、大企業カーブアウトを含む事業再編及び、中堅企業の事業承継案件を中心に幅広く検討

- 1号ファンド・2号ファンドともに成長支援に強みを持っている。

1号ファンド

2号ファンド

成長支援

タカラトミー
投資時期：2009年6月

ジョイフル本田
投資時期：2009年10月

大貴
投資時期：2018年7月

サイプレス
投資時期：2019年9月

グラニフ
投資時期：2019年12月

TOSEI
投資時期：2020年1月

事業承継

山本製作所
投資時期：2011年2月

トライス
投資時期：2017年2月

ベストプロジェクト
投資時期：2018年11月

カーブアウト

成城石井
投資時期：2011年5月

エムアイフーズスタイル
投資時期：2018年4月

- みずほキャピタルパートナーズは、みずほグループのファンド運営会社。バイアウトファンドとメザニンファンドをそれぞれ運営している。

会社名

みずほキャピタルパートナーズ株式会社

代表者

野沢 勝則

所在地

東京都千代田区丸の内一丁目6番1号
丸の内センタービルディング2階

設立

2000年2月

運営ファンド

バイアウトファンド
1～5号ファンド（150・340・292・112・300億円）
メザニンファンド
1～4号ファンド（253・177・300・326億円）

参考文献

事業再編とバイアウト
事業承継とバイアウト
日本のLBOファイナンス

経営理念 ・投資方針

バイアウトファンド

- **投資方針**
相対取引によるマネジメントバイアウトを中心とした、投資を行います。
- **投資対象**
安定したキャッシュフローを有する企業

メザニンファンド

- **投資方針**
通常の銀行借入や普通株式増資では対応できないファイナンスを提供し、投資実行後の一定期間における収益蓄積やリファイナンスを原資として回収を行います。
- **投資対象**
安定したキャッシュフローを見込むことができる企業

■ バイアウトは年1件、メザニンは年3件程度のペースで投資を実行している。

2011年～2015年

2016年～

バイアウト ファンド

アイム

投資時期：2011年
類型：事業承継

エンブロイ

投資時期：2014年
類型：資本再構築

山木工業

投資時期：2016年
類型：事業承継

神田電子工業

投資時期：2017年
類型：事業承継

日精

投資時期：2019年
類型：資本再構築

のむら産業

投資時期：2013年
類型：事業承継

TDM

投資時期：2014年
類型：子会社独立

イグアス

投資時期：2017年
類型：子会社独立

ニュー・クイック

投資時期：2018年
類型：事業承継

高崎事務器

投資時期：2020年
類型：事業承継

メザニン ファンド

サービス

投資時期：2012年
類型：バイアウト

小売

投資時期：2013年
類型：資本増強

製造

投資時期：2014年
類型：資本増強

サービス

投資時期：2015年
類型：成長資金

小売

投資時期：2016年
類型：成長資金

サービス

投資時期：2017年
類型：バイアウト

サービス

投資時期：2018年
類型：バイアウト

小売

投資時期：2019年
類型：バイアウト

製造

投資時期：2012年
類型：バイアウト

小売

投資時期：2013年
類型：資本増強

サービス

投資時期：2014年
類型：資本再構築

外食

投資時期：2015年
類型：バイアウト

製造

投資時期：2017年
類型：バイアウト

小売

投資時期：2017年
類型：バイアウト

サービス

投資時期：2019年
類型：バイアウト

サービス

投資時期：2020年
類型：バイアウト

サービス

投資時期：2012年
類型：資本増強

製造

投資時期：2013年
類型：バイアウト

製造

投資時期：2014年
類型：バイアウト

小売

投資時期：2017年
類型：成長資金

サービス

投資時期：2018年
類型：成長資金

サービス

投資時期：2019年
類型：成長資金

ソフトウェア

投資時期：2013年
類型：バイアウト

サービス

投資時期：2014年
類型：バイアウト

製造

投資時期：2014年
類型：バイアウト

サービス

投資時期：2017年
類型：バイアウト

製造

投資時期：2018年
類型：バイアウト

建築

投資時期：2019年
類型：資本再構築

- 雄渾キャピタル・パートナーズは、ヴァリアント・パートナーズ出身の櫻井氏、日本みらいキャピタル出身の阿部氏により設立されたファンド運営会社。

会社名

雄渾キャピタル・パートナーズ株式会社

代表者

櫻井 歩身、阿部 知樹

所在地

東京都千代田区一番町5番地
アトラスビル2階

設立

2014年3月28日

運営ファンド

雄渾1号投資事業有限責任組合（2015年 125億円）
雄渾2号投資事業有限責任組合（2020年）

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

「雄渾」に込めた思い

- 「雄渾」。ゆうこん。力強く、勢いがある雄大なさま。
- 私たちは、この仕事をするにあたって持つべき勇気と覚悟を、この言葉に託しました。
- 投資先企業がより強くなることを目的とし、その過程で関わる全ての人と共に成長することに我々は全力で挑みます。

活動理念

私たちは、投資活動の全てのステージにおいて、

- プロフェッショナルとして、高度かつ創造的なソリューションを提供します。
- 常に投資先企業の方々に寄り添い、信頼に基づく協働関係を築きます。
- 全ての関係者の間で実り多き成果を分かち合い、信任の輪を拡げていきます。その結果、「日本で最も信頼に値するファンド」になることを目指します。

■ 2016年以降、概ね年1件のペースで投資を実施。

田中

投資時期

2016年3月

事業内容

建設・土木繊維複合素材（ジオシンセティックス）製造販売

Exit時期

2020年6月

湘南ゼミナール

投資時期

2017年6月

事業内容

小学生から高校生を対象にした集団一斉指導・個別指導等、学習塾の運営

Exit時期

2020年12月

日本技術センター/テクノリンク

投資時期

2020年1月

事業内容

産業機械の設計製造から技術者派遣まで各種技術支援を行う総合エンジニアリング会社/各種産業用機械の開発・設計

エスキュービズム

投資時期

2020年12月

事業内容

DXコンサルティングや「EC-ORANGE」「ORANGE POS」等のプロダクトの提供

東信鋼鉄

投資時期

2017年2月

事業内容

特殊鋼・普通鋼・非鉄金属のカスタムプレート加工販売

fitfit

投資時期

2018年11月

事業内容

『外反母趾にもやさしいおしゃれな靴』をコンセプトとした婦人靴の企画・製造・販売

SASAYA

投資時期

2020年3月

事業内容

多様な業態での飲食店経営

- 日本のファンド黎明期である1998年に設立された老舗ファンド。日本ファンドだけでなく、韓国ファンドも運営している。

会社名

ユニゾン・キャピタル株式会社

代表者

林 竜也、川崎 達生

所在地

東京都千代田区紀尾井町4番1号
ニューオータニガーデンコート9階

設立

1998年

運営ファンド

1～4号ファンド（380・750・1,400・700億円）
韓国1・2号ファンド（3,075・5,000億ウォン）
共同投資ファンド（600億円）

参考文献

プロフェッショナル経営者とバイアウト

経営理念 ・投資方針

Philosophy

「ユニゾン」は、音楽用語で「同じ旋律を奏でる」を意味します。私たちは、多彩な楽器が重なり合って美しい一つの旋律を奏でるように、投資先企業の皆様との「調和」を保ちながら、企業価値向上をサポートしたいと考えています。経営者・従業員・株主が同じ価値観を共有し、共通の目標に向かって力を合わせることにより、企業は必ず新しい成長を実現することが出来る-これがユニゾン・キャピタルの信条です。

Strategy / Focus Sectors

ユニゾン・キャピタルは、主に以下の注力業種における中堅企業への投資を行っています。創業以来20年以上にわたる投資活動を通じて培ったノウハウやネットワークを駆使し、投資先企業の成長をサポートします。

- ヘルスケア
- コンシューマー
- B2Bサービス

Strategy / Approach

ユニゾン・キャピタルによる投資先企業への支援は多岐にわたります。経営チームの強化、成長戦略の策定とその遂行に必要な資金・リソースの提供、デジタルを活用した企業改革、また、ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点から投資先企業のみならず周辺社会への好循環を生み出すことを目指しています。

- 戦略立案
- 経営人材登用
- デジタル改革
- ESG

■ 近年の国内投資案件としては、ヘルスケアやコンシューマーでの投資実績が多い。

2011年～2015年

2016年～

ヘルスケア

昭和薬品化工

投資時期：2012年6月
Exit時期：2016年9月
Exit先：ジーシー

あゆみ製薬

投資時期：2015年8月
Exit時期：2019年4月
Exit先：ブラックストーン

CHCPファーマシー

投資時期：2017年9月

共和薬品工業

投資時期：2019年12月

CHCPホスピタルパートナーズ

投資時期：2019年7月

コンシューマー

エノテカ

投資時期：2011年3月
Exit時期：2015年3月
Exit先：アサヒビール

ミスターミニット

投資時期：2011年12月
Exit時期：2015年12月
Exit先：青山商事

ゆこゆこ

投資時期：2016年8月

ミナシア

投資時期：2017年12月

ピュール

投資時期：2019年6月

ダイナミクス

投資時期：2017年6月

資さん

投資時期：2018年3月

オールハーツ・カンパニー

投資時期：2020年12月

BtoB

建デポ

投資時期：2015年10月
Exit時期：2019年6月
Exit先：コーナン商事

シダックス

投資時期：2019年7月

その他

旭テック

投資時期：2011年4月
Exit時期：2018年5月
Exit先：トピー工業

デクセリアルズ

投資時期：2012年9月
Exit時期：2016年3月
Exit先：IPO

- SMBC日興証券・住友商事・三井住友信託銀行といった三井・住友グループを主たる株主とするファンド運営会社。

会社名

ライジング・ジャパン・エクイティ株式会社

代表者

丸山 哲夫

所在地

東京都千代田区大手町一丁目7番2号
東京サンケイビル27階

設立

2010年12月1日

運営ファンド

ライジング・ジャパン・エクイティ第一～二号投資
事業有限責任組合

参考文献

未詳

経営理念 ・投資方針

RJEのミッション

投資先企業との「調和・協調」に基づく企業価値向上を通じて、日本経済の発展に貢献します。

RJEのビジョン

本邦企業出身のメンバーによる日本の商慣行や価値観等への深い理解に基づき、投資先企業の価値向上を通じて社会に貢献する信頼される投資会社となることを目指します。

投資基準

- 日本国内に所在する中堅企業（Mid-Cap）で、安定的なキャッシュフローを生み出していること
- 顕在化しているもののみならず、潜在的なものも含めて、事業上何らかの競争優位を有していること
- 信頼・協調関係を構築し、最適なガバナンス体制を確立することによって、更なる成長の実現を託せるような強固なマネジメント体制を有していること
- 積極的なリソース（資金・ネットワーク・人材等）の提供によって、長期的な事業の成長が期待できること

- 年1件強のペースで投資を実行している。

～2015年

不二電子工業

投資時期：2011年12月

Exit時期：2013年5月

Exit先：精工技研

フードレーベルホールディングス

投資時期：2012年10月

Exit時期：2016年3月

Exit先：ピククルスコーポレーション

スタイラ

投資時期：2013年3月

Exit時期：2016年6月

Exit先：ベルミラ

ナチュラルピュリファイ研究所

投資時期：2013年3月

Exit時期：2017年1月

Exit先：スクロール

田村プラスチック製品

投資時期：2013年7月

Exit時期：2015年8月

Exit先：大日本印刷

アイナックス稲本

投資時期：2015年3月

Exit時期：2017年7月

Exit先：三浦工業

2016年～

ムラヤマ

投資時期：2017年7月

島田製作所

投資時期：2018年12月

シーケル

投資時期：2019年2月

Exit時期：2020年11月

Exit先：UTグループ

クオルテック

投資時期：2019年4月

プログレスグループ

投資時期：2019年7月

杉山チエン製作所

投資時期：2019年12月

シネ・フォーカス

投資時期：2020年3月

尾張精機 (TOB成立)

公表時期：2020年12月

- 香港・東京を拠点とし、製造業・テクノロジー、コンシューマ、ビジネスサービス、金融サービスの分野を投資対象としている。

会社名

株式会社ロングリーチグループ

代表者

吉沢 正道

所在地

東京都千代田区麹町一丁目12番1号
住友不動産ふくおか半蔵門ビル3階

設立

2003年

運営ファンド

第1号ファンド（750百万米ドル）
第2号ファンド（400百万米ドル）
第3号ファンド（650百万米ドル）

参考文献

事業再生とバイアウト

経営理念 ・投資方針

投資戦略

ロングリーチグループは、投資先企業の皆様の求める多様なニーズに対応し、テーラーメイドのソリューションを提供することを通じて、企業価値の創出に積極的に取り組んでまいります。

投資先企業の皆様とは、まず相互の信頼関係を基盤とし、その上で問題意識を共有することから対話を始めます。こうして築かれる長期的リレーションシップと、ロングリーチグループの持つグローバルな業界知識やネットワークによるソリューションを融合することで、企業価値の向上が初めて実現できるのです。

投資先企業の皆様の求める戦略的な事業拡大のニーズを、高度なストラクチャリング力によりリスクを低減しつつ実現していく、こうした専門性もまたロングリーチグループの特色です。

私たちロングリーチグループは、こうした専門性の高い事業支援投資を中長期的視点から真摯に追求することで、投資先企業の皆様へ高い付加価値を提供しております。

投資対象

- 主な対象業界：製造業・テクノロジー、コンシューマ、ビジネスサービス、金融サービス
- 対象地域：日本、及び関連する中華圏

■ 日本国内での投資を中心に、2020年12月時点で累計16件・約1,400億円の投資実績あり。

1号ファンド

日本マクドナルドホールディングス

投資時期：2005年7月

オーシーシー

投資時期：2006年9月

アジア・アルミニウム・グループ（中国企業）

投資時期：2007年5月

安泰商業銀行（台湾企業）

投資時期：2007年11月

サイバード

投資時期：2007年12月

三洋電機ロジスティクス

投資時期：2010年5月

2号ファンド

日立ビアメカニクス

投資時期：2013年11月

ソルプラス

安田製作所

投資時期：2014年1月

プリモ・ジャパン

投資時期：2015年1月

ウェンディーズ・ジャパン

投資時期：2016年6月

NOC日本アウトソーシング

投資時期：2016年10月

3号ファンド

珈琲館

投資時期：2018年5月

富士通コンポーネント

投資時期：2019年1月

Quasar（香港企業）

投資時期：2019年4月

シャノアール

投資時期：2020年1月

ジャパンシステム（TOB実施中）

公表時期：2020年12月

お問い合わせ先及びご留意事項

お問い合わせ先

- 株式会社マーブル
M&Aアドバイザリー部門
contact@sogotcha.com

ご留意事項

- 本ガイドブックは、公開情報に基づき、ファンド運営会社の概要を説明した資料になります。本ガイドブックの利用により発生した損害につき、弊社は一切の責任を負わない点、ご留意ください。
- 弊社は、法務・会計・税務等の専門的なアドバイスを行う立場にはありません。これらの詳細については、各専門家にご相談ください。